

令和7年度
上道公園トイレ改築工事

[illegible]

工事名	上道公園トイレ改築工事				No.	
図面	表紙・図面リスト			縮尺	A-00	
岡山市 都市整備局 住宅・建築部 公共建築課					令和7年5月	
建築	課長	課長補佐	係長	課員	担当者	
設備	担当課長	課長補佐	係長	課員	担当者	
					承認	検閲
						製図

株式会社 綜合設計
岡山県知事登録第1910号
1級建築士登録第92328号 井上 元
〒701-0145 岡山市北区今保185-8
TEL : 086-241-9082 FAX 086-241-9493

④	木造工事	①	レディーミクストコンクリート [6. 4. 1~2]	※Ⅰ類（JIS A 5308「レディーミクストコンクリート」への適合を認証されたコンクリート） ・Ⅱ類 表6. 3. 1 セメントの種類 [6. 3. 1]	5 軸組構法（壁構造系）工事	1	共通材料 [5. 2. 2~3]	軸組構法（壁構造系）工事に使用する木材は、使用材料表1による 軸組構法（壁構造系）工事に使用する構造用面材は、使用材料表2による	9	5	接合金物の工法 [5. 5. 8]	熱橋を形成する位置に設置する接合金物の断熱 ・埋め木 ・簡易発泡硬質ウレタン断熱材（JIS A 9526）	7	抄組壁工法工事	1	現寸図 [6. 4. 2]	床書き現寸図 ・作成する
		②	セメントの種類 [6. 3. 1]	②		接合金物・接合具等 [5. 2. 4] [5. 5. 7] [5. 5. 9] [5. 5. 10~13]	②	接合金物・接合具等 [6. 2. 4] [6. 5. 10~14]		②	孔あけ加工 [6. 4. 5]	ボルト孔の径 ※木造標準仕様書表6. 4. 1による ・図示 ドリフトピンの孔径 ※ピン径と同径 ・図示					
④	木造工事	③	ホルムアルデヒド [4. 1. 4]	ホルムアルデヒド放数量 ※F☆☆☆☆	5	2	接合金物・接合具等 [5. 2. 4] [5. 5. 7] [5. 5. 9] [5. 5. 10~13]	・接合金物 ・Z、C、X、D、Sマーク表示金物	9	10	釘及び木ねじの工法 [5. 5. 9]	釘及び木ねじの種類、本数及び間隔 ・図示 構造材を仕上材として用いる場合の釘打ち ・隠し釘打ち ・釘隠埋め木 ・つぶし隠し釘打ち ・釘隠現し 木ねじの留付け ※木ねじ隠埋め木	7	抄組壁工法工事	⑤	木材の表面仕上げ [6. 4. 6]	見え掛り面の表面の仕上げの程度 ○構造用集成材 ・機械加工 ・A種 ※B種 ○製材 ・機械加工 ・A種 ・B種 ・C種 ・手加工 ・H-A種 ・H-B種 ・H-C種 ○木材保護塗料塗り 施工箇所 ※図示 種別 ・A種 ※B種
		④	防腐・防蟻処理 [4. 2. 1~3]	・薬剤の加圧注入による防腐・防蟻処理 適用部材 薬剤の種類 処理の方法 ・合板・柱・間柱・筋交・鋼骨のうち おしからしm以内のもの ・K2 ・K3 ・K4 ・行う ・K2 ・K3 ・K4 ・行う インサイジング ・適用する ・適用しない ・薬剤塗布等による防腐・防蟻処理 適用部材 薬剤の種類 処理の方法 ・図示 ※4. 2. 1(ウ) (b)による ・ ・ ・薬剤の接着剤への混入による防腐・防蟻処理 適用部位 処理の方法 ・ ・ ・ ・合板、集成材、単板積層材の薬剤の加圧注入 (K3) による防腐・防蟻処理 適用部位 ※図示 ・地盤に接する鉄筋コンクリートによる床下の防蟻処理 適用は木造標準仕様書 4. 2. 2(ア)による 4. 2. 2(イ)による 配筋 ・図示 ・地盤の土壌の防蟻処理 使用する薬剤 有効成分の系統 剤の種類 薬剤 ・粒剤 処理方法及び使用量 ・帯状散布 (帯状の幅: 約20cm) 液剤: 処理長さ1L/m 粒剤 () ・面状散布 液剤: 3L/m ² 粒剤 ()		5	3	接合金物・接合具等 [5. 2. 4] [5. 5. 7] [5. 5. 9] [5. 5. 10~13]		・火打金物 ・筋かいプレート ・引き寄せ金物 ・梁受け金物 ・ ・ ・ Z、C、D、Sマーク表示金物に付属する接合具も含む。 ・Z、C、D、Sマーク表示金物以外の接合金物 ※図示 ・釘及び木ねじ ・釘 (JIS A 5508)、コンクリート用釘、特殊な釘	9	11			火打土台 [5. 6. 2]	木材の火打土台 ・適用する 鋼製火打土台 ・適用する	7
⑤	防腐措置 [4. 2. 4]	・基礎外周部の換気孔 ・ねこ土台 材質等 () ・換気孔 材質等 (※防風スクリーン又は防虫網)	5	4	接合金物・接合具等 [5. 2. 4] [5. 5. 7] [5. 5. 9] [5. 5. 10~13]		・鉄丸くぎ ・太め鉄丸くぎ ・ステンレス鋼くぎ Z、C、X、D、Sマーク表示金物	9	12	火打梁 [5. 7. 8] [5. 8. 6]		小屋組 木製の火打梁 ・適用する 鋼製の火打梁 ・適用する 床組 木製の火打梁 ・適用する 鋼製の火打梁 ・適用する	7	抄組壁工法工事	⑦	基礎天端及び柱均しモルタルの仕上げ [6. 5. 4]	
⑥	防火被覆処理 [4. 3. 1~4]	・防火被覆の材料及び工法 ・防火被覆の材料 ・図示による ・防火被覆の厚さ ・図示による ・防火被覆の留付け材の種類 ・図示による ・防火被覆の留付け間隔 ・図示による ・防火被覆の下地材への留付け長さ ・図示による ・防火被覆の下地材への端あき距離 ・図示による ・防火被覆の下地材への接着剤の使用 ・使用する ・使用しない ・防火被覆の目地等の処理方法 ・図示による ・柱又は梁の継手及び仕口の接合金物の防火処理 ・図示による ・防火被覆処理部への二次部材の取付け 防火被覆処理部の設備配管等の貫通部処理 ・図示による 防火被覆処理部への建具、設備機器の取付け方法及び取付け金物の防火被覆処理 ・図示による 燃えしろ層の工法 ・燃えしろ層の厚さ ・図示による ・柱又は梁の継手及び仕口の接合金物の防火被覆処理 ・図示による ・接合具にボルト、ドリフトピン等を用いる場合の防火被覆処理 ・図示による ・燃えしろ層への二次部材の取付け 燃えしろ層の配管等貫通部処理 ・図示による 燃えしろ層への建具、設備機器の取付け方法及び取付け金物の防火被覆処理 ・図示による 不燃処理木材等 ・図示による		5	5	接合金物・接合具等 [5. 2. 4] [5. 5. 7] [5. 5. 9] [5. 5. 10~13]	・ボルト、アンカーボルト、ナット及び座金 ・Z、C、X、D、Sマーク表示金物		9	13	真壁造り塗り壁耐力壁 [5. 9. 7]	間渡し竹 ・マダケ ・シノテク 土塗り壁の塗り厚さ ※図示			7	抄組壁工法工事	⑧
⑦	防火被覆処理 [4. 3. 1~4]	・防火被覆の材料及び工法 ・防火被覆の材料 ・図示による ・防火被覆の厚さ ・図示による ・防火被覆の留付け材の種類 ・図示による ・防火被覆の留付け間隔 ・図示による ・防火被覆の下地材への留付け長さ ・図示による ・防火被覆の下地材への端あき距離 ・図示による ・防火被覆の下地材への接着剤の使用 ・使用する ・使用しない ・防火被覆の目地等の処理方法 ・図示による ・柱又は梁の継手及び仕口の接合金物の防火処理 ・図示による ・防火被覆処理部への二次部材の取付け 防火被覆処理部の設備配管等の貫通部処理 ・図示による 防火被覆処理部への建具、設備機器の取付け方法及び取付け金物の防火被覆処理 ・図示による 燃えしろ層の工法 ・燃えしろ層の厚さ ・図示による ・柱又は梁の継手及び仕口の接合金物の防火被覆処理 ・図示による ・接合具にボルト、ドリフトピン等を用いる場合の防火被覆処理 ・図示による ・燃えしろ層への二次部材の取付け 燃えしろ層の配管等貫通部処理 ・図示による 燃えしろ層への建具、設備機器の取付け方法及び取付け金物の防火被覆処理 ・図示による 不燃処理木材等 ・図示による	5		6	接合金物・接合具等 [5. 2. 4] [5. 5. 7] [5. 5. 9] [5. 5. 10~13]	・ボルト、アンカーボルト、ナット及び座金 ・Z、C、X、D、Sマーク表示金物	9		14	真壁造り塗り壁耐力壁 [5. 9. 7]	間渡し竹 ・マダケ ・シノテク 土塗り壁の塗り厚さ ※図示	7	抄組壁工法工事			⑨
⑧	防火被覆処理 [4. 3. 1~4]	・防火被覆の材料及び工法 ・防火被覆の材料 ・図示による ・防火被覆の厚さ ・図示による ・防火被覆の留付け材の種類 ・図示による ・防火被覆の留付け間隔 ・図示による ・防火被覆の下地材への留付け長さ ・図示による ・防火被覆の下地材への端あき距離 ・図示による ・防火被覆の下地材への接着剤の使用 ・使用する ・使用しない ・防火被覆の目地等の処理方法 ・図示による ・柱又は梁の継手及び仕口の接合金物の防火処理 ・図示による ・防火被覆処理部への二次部材の取付け 防火被覆処理部の設備配管等の貫通部処理 ・図示による 防火被覆処理部への建具、設備機器の取付け方法及び取付け金物の防火被覆処理 ・図示による 燃えしろ層の工法 ・燃えしろ層の厚さ ・図示による ・柱又は梁の継手及び仕口の接合金物の防火被覆処理 ・図示による ・接合具にボルト、ドリフトピン等を用いる場合の防火被覆処理 ・図示による ・燃えしろ層への二次部材の取付け 燃えしろ層の配管等貫通部処理 ・図示による 燃えしろ層への建具、設備機器の取付け方法及び取付け金物の防火被覆処理 ・図示による 不燃処理木材等 ・図示による		5	7	接合金物・接合具等 [5. 2. 4] [5. 5. 7] [5. 5. 9] [5. 5. 10~13]	・ボルト、アンカーボルト、ナット及び座金 ・Z、C、X、D、Sマーク表示金物		9	15	薄とし込み板耐力壁 [5. 9. 9]	鋼製だばの適用			7	抄組壁工法工事	⑩
⑨	防火被覆処理 [4. 3. 1~4]	・防火被覆の材料及び工法 ・防火被覆の材料 ・図示による ・防火被覆の厚さ ・図示による ・防火被覆の留付け材の種類 ・図示による ・防火被覆の留付け間隔 ・図示による ・防火被覆の下地材への留付け長さ ・図示による ・防火被覆の下地材への端あき距離 ・図示による ・防火被覆の下地材への接着剤の使用 ・使用する ・使用しない ・防火被覆の目地等の処理方法 ・図示による ・柱又は梁の継手及び仕口の接合金物の防火処理 ・図示による ・防火被覆処理部への二次部材の取付け 防火被覆処理部の設備配管等の貫通部処理 ・図示による 防火被覆処理部への建具、設備機器の取付け方法及び取付け金物の防火被覆処理 ・図示による 燃えしろ層の工法 ・燃えしろ層の厚さ ・図示による ・柱又は梁の継手及び仕口の接合金物の防火被覆処理 ・図示による ・接合具にボルト、ドリフトピン等を用いる場合の防火被覆処理 ・図示による ・燃えしろ層への二次部材の取付け 燃えしろ層の配管等貫通部処理 ・図示による 燃えしろ層への建具、設備機器の取付け方法及び取付け金物の防火被覆処理 ・図示による 不燃処理木材等 ・図示による	5		8	接合金物・接合具等 [5. 2. 4] [5. 5. 7] [5. 5. 9] [5. 5. 10~13]	・ボルト、アンカーボルト、ナット及び座金 ・Z、C、X、D、Sマーク表示金物	9		16	大臣認定耐力壁 [5. 9. 10]	・床勝ち大壁造の構造用合板耐力壁 材料、工法 ※図示 ・床勝ち真壁造の構造用合板耐力壁 材料、工法 ※図示	7	抄組壁工法工事			⑪
⑩	防火被覆処理 [4. 3. 1~4]	・防火被覆の材料及び工法 ・防火被覆の材料 ・図示による ・防火被覆の厚さ ・図示による ・防火被覆の留付け材の種類 ・図示による ・防火被覆の留付け間隔 ・図示による ・防火被覆の下地材への留付け長さ ・図示による ・防火被覆の下地材への端あき距離 ・図示による ・防火被覆の下地材への接着剤の使用 ・使用する ・使用しない ・防火被覆の目地等の処理方法 ・図示による ・柱又は梁の継手及び仕口の接合金物の防火処理 ・図示による ・防火被覆処理部への二次部材の取付け 防火被覆処理部の設備配管等の貫通部処理 ・図示による 防火被覆処理部への建具、設備機器の取付け方法及び取付け金物の防火被覆処理 ・図示による 燃えしろ層の工法 ・燃えしろ層の厚さ ・図示による ・柱又は梁の継手及び仕口の接合金物の防火被覆処理 ・図示による ・接合具にボルト、ドリフトピン等を用いる場合の防火被覆処理 ・図示による ・燃えしろ層への二次部材の取付け 燃えしろ層の配管等貫通部処理 ・図示による 燃えしろ層への建具、設備機器の取付け方法及び取付け金物の防火被覆処理 ・図示による 不燃処理木材等 ・図示による		5	9	接合金物・接合具等 [5. 2. 4] [5. 5. 7] [5. 5. 9] [5. 5. 10~13]	・ボルト、アンカーボルト、ナット及び座金 ・Z、C、X、D、Sマーク表示金物		9	17	基礎天端及び柱均しモルタルの仕上げ [5. 5. 4]	材料 ・木造標準仕様書 5. 5. 4 (イ)による ・無収縮モルタル ・モルタルの厚さ ※20mm程度 ・図示			7	抄組壁工法工事	⑫
⑪	防火被覆処理 [4. 3. 1~4]	・防火被覆の材料及び工法 ・防火被覆の材料 ・図示による ・防火被覆の厚さ ・図示による ・防火被覆の留付け材の種類 ・図示による ・防火被覆の留付け間隔 ・図示による ・防火被覆の下地材への留付け長さ ・図示による ・防火被覆の下地材への端あき距離 ・図示による ・防火被覆の下地材への接着剤の使用 ・使用する ・使用しない ・防火被覆の目地等の処理方法 ・図示による ・柱又は梁の継手及び仕口の接合金物の防火処理 ・図示による ・防火被覆処理部への二次部材の取付け 防火被覆処理部の設備配管等の貫通部処理 ・図示による 防火被覆処理部への建具、設備機器の取付け方法及び取付け金物の防火被覆処理 ・図示による 燃えしろ層の工法 ・燃えしろ層の厚さ ・図示による ・柱又は梁の継手及び仕口の接合金物の防火被覆処理 ・図示による ・接合具にボルト、ドリフトピン等を用いる場合の防火被覆処理 ・図示による ・燃えしろ層への二次部材の取付け 燃えしろ層の配管等貫通部処理 ・図示による 燃えしろ層への建具、設備機器の取付け方法及び取付け金物の防火被覆処理 ・図示による 不燃処理木材等 ・図示による	5		10	接合金物・接合具等 [5. 2. 4] [5. 5. 7] [5. 5. 9] [5. 5. 10~13]	・ボルト、アンカーボルト、ナット及び座金 ・Z、C、X、D、Sマーク表示金物	9		18	基礎天端及び柱均しモルタルの仕上げ [5. 5. 4]	材料 ・木造標準仕様書 5. 5. 4 (イ)による ・無収縮モルタル ・モルタルの厚さ ※20mm程度 ・図示	7	抄組壁工法工事			⑬
⑫	防火被覆処理 [4. 3. 1~4]	・防火被覆の材料及び工法 ・防火被覆の材料 ・図示による ・防火被覆の厚さ ・図示による ・防火被覆の留付け材の種類 ・図示による ・防火被覆の留付け間隔 ・図示による ・防火被覆の下地材への留付け長さ ・図示による ・防火被覆の下地材への端あき距離 ・図示による ・防火被覆の下地材への接着剤の使用 ・使用する ・使用しない ・防火被覆の目地等の処理方法 ・図示による ・柱又は梁の継手及び仕口の接合金物の防火処理 ・図示による ・防火被覆処理部への二次部材の取付け 防火被覆処理部の設備配管等の貫通部処理 ・図示による 防火被覆処理部への建具、設備機器の取付け方法及び取付け金物の防火被覆処理 ・図示による 燃えしろ層の工法 ・燃えしろ層の厚さ ・図示による ・柱又は梁の継手及び仕口の接合金物の防火被覆処理 ・図示による ・接合具にボルト、ドリフトピン等を用いる場合の防火被覆処理 ・図示による ・燃えしろ層への二次部材の取付け 燃えしろ層の配管等貫通部処理 ・図示による 燃えしろ層への建具、設備機器の取付け方法及び取付け金物の防火被覆処理 ・図示による 不燃処理木材等 ・図示による		5	11	接合金物・接合具等 [5. 2. 4] [5. 5. 7] [5. 5. 9] [5. 5. 10~13]	・ボルト、アンカーボルト、ナット及び座金 ・Z、C、X、D、Sマーク表示金物		9	19	基礎天端及び柱均しモルタルの仕上げ [5. 5. 4]	材料 ・木造標準仕様書 5. 5. 4 (イ)による ・無収縮モルタル ・モルタルの厚さ ※20mm程度 ・図示			7	抄組壁工法工事	⑭
⑬	防火被覆処理 [4. 3. 1~4]	・防火被覆の材料及び工法 ・防火被覆の材料 ・図示による ・防火被覆の厚さ ・図示による ・防火被覆の留付け材の種類 ・図示による ・防火被覆の留付け間隔 ・図示による ・防火被覆の下地材への留付け長さ ・図示による ・防火被覆の下地材への端あき距離 ・図示による ・防火被覆の下地材への接着剤の使用 ・使用する ・使用しない ・防火被覆の目地等の処理方法 ・図示による ・柱又は梁の継手及び仕口の接合金物の防火処理 ・図示による ・防火被覆処理部への二次部材の取付け 防火被覆処理部の設備配管等の貫通部処理 ・図示による 防火被覆処理部への建具、設備機器の取付け方法及び取付け金物の防火被覆処理 ・図示による 燃えしろ層の工法 ・燃えしろ層の厚さ ・図示による ・柱又は梁の継手及び仕口の接合金物の防火被覆処理 ・図示による ・接合具にボルト、ドリフトピン等を用いる場合の防火被覆処理 ・図示による ・燃えしろ層への二次部材の取付け 燃えしろ層の配管等貫通部処理 ・図示による 燃えしろ層への建具、設備機器の取付け方法及び取付け金物の防火被覆処理 ・図示による 不燃処理木材等 ・図示による	5		12	接合金物・接合具等 [5. 2. 4] [5. 5. 7] [5. 5. 9] [5. 5. 10~13]	・ボルト、アンカーボルト、ナット及び座金 ・Z、C、X、D、Sマーク表示金物	9		20	コンクリート強度試験 [6. 9. 3]	※調査管理強度の管理試験、構造体コンクリートの材齢28日圧縮強度の推定試験及び構造体コンクリートの材齢28日を超え91日以内の圧縮強度の推定試験は公的機関において行う。	7	抄組壁工法工事			⑮
⑭	防火被覆処理 [4. 3. 1~4]	・防火被覆の材料及び工法 ・防火被覆の材料 ・図示による ・防火被覆の厚さ ・図示による ・防火被覆の留付け材の種類 ・図示による ・防火被覆の留付け間隔 ・図示による ・防火被覆の下地材への留付け長さ ・図示による ・防火被覆の下地材への端あき距離 ・図示による ・防火被覆の下地材への接着剤の使用 ・使用する ・使用しない ・防火被覆の目地等の処理方法 ・図示による ・柱又は梁の継手及び仕口の接合金物の防火処理 ・図示による ・防火被覆処理部への二次部材の取付け 防火被覆処理部の設備配管等の貫通部処理 ・図示による 防火被覆処理部への建具、設備機器の取付け方法及び取付け金物の防火被覆処理 ・図示による 燃えしろ層の工法 ・燃えしろ層の厚さ ・図示による ・柱又は梁の継手及び仕口の接合金物の防火被覆処理 ・図示による ・接合具にボルト、ドリフトピン等を用いる場合の防火被覆処理 ・図示による ・燃えしろ層への二次部材の取付け 燃えしろ層の配管等貫通部処理 ・図示による 燃えしろ層への建具、設備機器の取付け方法及び取付け金物の防火被覆処理 ・図示による 不燃処理木材等 ・図示による		5	13	接合金物・接合具等 [5. 2. 4] [5. 5. 7] [5. 5. 9] [5. 5. 10~13]	・ボルト、アンカーボルト、ナット及び座金 ・Z、C、X、D、Sマーク表示金物		9	21	基礎天端及び柱均しモルタルの仕上げ [5. 5. 4]	材料 ・木造標準仕様書 5. 5. 4 (イ)による ・無収縮モルタル ・モルタルの厚さ ※20mm程度 ・図示			7	抄組壁工法工事	⑯
⑮	防火被覆処理 [4. 3. 1~4]	・防火被覆の材料及び工法 ・防火被覆の材料 ・図示による ・防火被覆の厚さ ・図示による ・防火被覆の留付け材の種類 ・図示による ・防火被覆の留付け間隔 ・図示による ・防火被覆の下地材への留付け長さ ・図示による ・防火被覆の下地材への端あき距離 ・図示による ・防火被覆の下地材への接着剤の使用 ・使用する ・使用しない ・防火被覆の目地等の処理方法 ・図示による ・柱又は梁の継手及び仕口の接合金物の防火処理 ・図示による ・防火被覆処理部への二次部材の取付け 防火被覆処理部の設備配管等の貫通部処理 ・図示による 防火被覆処理部への建具、設備機器の取付け方法及び取付け金物の防火被覆処理 ・図示による 燃えしろ層の工法 ・燃えしろ層の厚さ ・図示による ・柱又は梁の継手及び仕口の接合金物の防火被覆処理 ・図示による ・接合具にボルト、ドリフトピン等を用いる場合の防火被覆処理 ・図示による ・燃えしろ層への二次部材の取付け 燃えしろ層の配管等貫通部処理 ・図示による 燃えしろ層への建具、設備機器の取付け方法及び取付け金物の防火被覆処理 ・図示による 不燃処理木材等 ・図示による	5		14	接合金物・接合具等 [5. 2. 4] [5. 5. 7] [5. 5. 9] [5. 5. 10~13]	・ボルト、アンカーボルト、ナット及び座金 ・Z、C、X、D、Sマーク表示金物	9		22	基礎天端及び柱均しモルタルの仕上げ [5. 5. 4]	材料 ・木造標準仕様書 5. 5. 4 (イ)による ・無収縮モルタル ・モルタルの厚さ ※20mm程度 ・図示	7	抄組壁工法工事			⑰
⑯	防火被覆処理 [4. 3. 1~4]	・防火被覆の材料及び工法 ・防火被覆の材料 ・図示による ・防火被覆の厚さ ・図示による ・防火被覆の留付け材の種類 ・図示による ・防火被覆の留付け間隔 ・図示による ・防火被覆の下地材への留付け長さ ・図示による ・防火被覆の下地材への端あき距離 ・図示による ・防火被覆の下地材への接着剤の使用 ・使用する ・使用しない ・防火被覆の目地等の処理方法 ・図示による ・柱又は梁の継手及び仕口の接合金物の防火処理 ・図示による ・防火被覆処理部への二次部材の取付け 防火被覆処理部の設備配管等の貫通部処理 ・図示による 防火被覆処理部への建具、設備機器の取付け方法及び取付け金物の防火被覆処理 ・図示による 燃えしろ層の工法 ・燃えしろ層の厚さ ・図示による ・柱又は梁の継手及び仕口の接合金物の防火被覆処理 ・図示による ・接合具にボルト、ドリフトピン等を用いる場合の防火被覆処理 ・図示による ・燃えしろ層への二次部材の取付け 燃えしろ層の配管等貫通部処理 ・図示による 燃えしろ層への建具、設備機器の取付け方法及び取付け金物の防火被覆処理 ・図示による 不燃処理木材等 ・図示による		5	15	接合金物・接合具等 [5. 2. 4] [5. 5. 7] [5. 5. 9] [5. 5. 10~13]	・ボルト、アンカーボルト、ナット及び座金 ・Z、C、X、D、Sマーク表示金物		9	23	基礎天端及び柱均しモルタルの仕上げ [5. 5. 4]	材料 ・木造標準仕様書 5. 5. 4 (イ)による ・無収縮モルタル ・モルタルの厚さ ※20mm程度 ・図示			7	抄組壁工法工事	⑱
⑰	防火被覆処理 [4. 3. 1~4]	・防火被覆の材料及び工法 ・防火被覆の材料 ・図示による ・防火被覆の厚さ ・図示による ・防火被覆の留付け材の種類 ・図示による ・防火被覆の留付け間隔 ・図示による ・防火被覆の下地材への留付け長さ ・図示による ・防火被覆の下地材への端あき距離 ・図示による ・防火被覆の下地材への接着剤の使用 ・使用する ・使用しない ・防火被覆の目地等の処理方法 ・図示による ・柱又は梁の継手及び仕口の接合金物の防火処理 ・図示による ・防火被覆処理部への二次部材の取付け 防火被覆処理部の設備配管等の貫通部処理 ・図示による 防火被覆処理部への建具、設備機器の取付け方法及び取付け金物の防火被覆処理 ・図示による 燃えしろ層の工法 ・燃えしろ層の厚さ ・図示による ・柱又は梁の継手及び仕口の接合金物の防火被覆処理 ・図示による ・接合具にボルト、ドリフトピン等を用いる場合の防火被覆処理 ・図示による ・燃えしろ層への二次部材の取付け 燃えしろ層の配管等貫通部処理 ・図示による 燃えしろ層への建具、設備機器の取付け方法及び取付け金物の防火被覆処理 ・図示による 不燃処理木材等 ・図示による	5		16	接合金物・接合具等 [5. 2. 4] [5. 5. 7] [5. 5. 9] [5. 5. 10~13]	・ボルト、アンカーボルト、ナット及び座金 ・Z、C、X、D、Sマーク表示金物	9		24	基礎天端及び柱均しモルタルの仕上げ [5. 5. 4]	材料 ・木造標準仕様書 5. 5. 4 (イ)による ・無収縮モルタル ・モルタルの厚さ ※20mm程度 ・図示	7	抄組壁工法工事			⑲
⑱	防火被覆処理 [4. 3. 1~4]	・防火被覆の材料及び工法 ・防火被覆の材料 ・図示による ・防火被覆の厚さ ・図示による ・防火被覆の留付け材の種類 ・図示による ・防火被覆の留付け間隔 ・図示による ・防火被覆の下地材への留付け長さ ・図示による ・防火被覆の下地材への端あき距離 ・図示による ・防火被覆の下地材への接着剤の使用 ・使用する ・使用しない ・防火被覆の目地等の処理方法 ・図示による ・柱又は梁の継手及び仕口の接合金物の防火処理 ・図示による ・防火被覆処理部への二次部材の取付け 防火被覆処理部の設備配管等の貫通部処理 ・図示による 防火被覆処理部への建具、設備機器の取付け方法及び取付け金物の防火被覆処理 ・図示による 燃えしろ層の工法 ・燃えしろ層の厚さ ・図示による ・柱又は梁の継手及び仕口の接合金物の防火被覆処理 ・図示による ・接合具にボルト、ドリフトピン等を用いる場合の防火被覆処理 ・図示による ・燃えしろ層への二次部材の取付け 燃えしろ層の配管等貫通部処理 ・図示による 燃えしろ層への建具、設備機器の取付け方法及び取付け金物の防火被覆処理 ・図示による 不燃処理木材等 ・図示による		5	17	接合金物・接合具等 [5. 2. 4] [5. 5. 7] [5. 5. 9] [5. 5. 10~13]	・ボルト、アンカーボルト、ナット及び座金 ・Z、C、X、D、Sマーク表示金物		9	25	基礎天端及び柱均しモルタルの仕上げ [5. 5. 4]	材料 ・木造標準仕様書 5. 5. 4 (イ)による ・無収縮モルタル ・モルタルの厚さ ※20mm程度 ・図示			7	抄組壁工法工事	⑳
⑳	防火被覆処理 [4. 3. 1~4]	・防火被覆の材料及び工法 ・防火被覆の材料 ・図示による ・防火被覆の厚さ ・図示による ・防火被覆の留付け材の種類 ・図示による ・防火被覆の留付け間隔 ・図示による ・防火被覆の下地材への留付け長さ ・図示による ・防火被覆の下地材への端あき距離 ・図示による ・防火被覆の下地材への接着剤の使用 ・使用する ・使用しない ・防火被覆の目地等の処理方法 ・図示による ・柱又は梁の継手及び仕口の接合金物の防火処理 ・図示による ・防火被覆処理部への二次部材の取付け 防火被覆処理部の設備配管等の貫通部処理 ・図示による 防火被覆処理部への建具、設備機器の取付け方法及び取付け金物の防火被覆処理 ・図示による 燃えしろ層の工法 ・燃えしろ層の厚さ ・図示による ・柱又は梁の継手及び仕口の接合金物の防火被覆処理 ・図示による ・接合具にボルト、ドリフトピン等を用いる場合の防火被覆処理 ・図示による ・燃えしろ層への二次部材の取付け 燃えしろ層の配管等貫通部処理 ・図示による 燃えしろ層への建具、設備機器の取付け方法及び取付け金物の防火被覆処理 ・図示による 不燃処理木材等 ・図示による	5		18	接合金物・接合具等 [5. 2. 4] [5. 5. 7] [5. 5. 9] [5. 5. 10~13]	・ボルト、アンカーボルト、ナット及び座金 ・Z、C、X、D、Sマーク表示金物	9		26	基礎天端及び柱均しモルタルの仕上げ [5. 5. 4]	材料 ・木造標準仕様書 5. 5. 4 (イ)による ・無収縮モルタル ・モルタルの厚さ ※20mm程度 ・図示	7	抄組壁工法工事			㉑
㉑	防火被覆処理 [4. 3. 1~4]	・防火被覆の材料及び工法 ・防火被覆の材料 ・図示による ・防火被覆の厚さ ・図示による ・防火被覆の留付け材の種類 ・図示による ・防火被覆の留付け間隔 ・図示による ・防火被覆の下地材への留付け長さ ・図示による ・防火被覆の下地材への端あき距離 ・図示による ・防火被覆の下地材への接着剤の使用 ・使用する ・使用しない ・防火被覆の目地等の処理方法 ・図示による ・柱又は梁の継手及び仕口の接合金物の防火処理 ・図示による ・防火被覆処理部への二次部材の取付け 防火被覆処理部の設備配管等の貫通部処理 ・図示による 防火被覆処理部への建具、設備機器の取付け方法及び取付け金物の防火被覆処理 ・図示による 燃えしろ層の工法 ・燃えしろ層の厚さ ・図示による ・柱又は梁の継手及び仕口の接合金物の防火被覆処理 ・図示による ・接合具にボルト、ドリフトピン等を用いる場合の防火被覆処理 ・図示による ・燃えしろ層への二次部															

[illegible]

2

金属板葺
(14. 3. 2)

板及びコイルの種類

屋根の耐久性、めっき付着量等の種類及び記号

厚さ (mm)

屋根架形方式

固定釘等の材質

※ JIS 6 3322の屋根用コイル

・平葺（一文字葺）
・心木あり瓦葺葺
・心木なし瓦葺葺
・横葺
○立平葺

心木の防腐・防蟻処理方法（
・平葺（一文字葺）の工法
はぜの作り方 ※ 図示
・心木あり瓦葺葺の工法
銅板以外の板による屋根一般部分の工法
溝板及びキャップの留付け方法 ※ 木造標準仕様書14. 3. 5(3) (7) (a) による

瓦葺の開漏 ※ 図示
銅板による屋根一般部分の工法
瓦葺の開漏 ※ 図示
・心木なし瓦葺葺の工法
屋根の流れ方向に平行な壁との取合い部
・雨押えを付ける場合
※ 木造標準仕様書14. 3. 6 (7) (a) による
・雨押えを用いない場合
※ 木造標準仕様書14. 3. 6 (7) (b) による

工法
1章 16 適用区分による風圧力の（・1・1. 15・1. 3）倍の風圧力に対応した工法とし、
施工計画書として提出する
雪止め・設置する（施工箇所 ※図示・）

施工箇所

形式

山高、山ピッチによる区分

耐力による区分

材料による区分

厚さ (mm)

軒先面戸板

耐火性能

・重ね形
・はぜ絡み形

山高
山ピッチ

（ ）種

※銅板製
・アルミニウム合金板製

・有り
・無し

・30分
・無し

材料

板及びコイルの種類（
屋根の耐久性、めっき付着量等の種類及び記号（
断熱材張り・行う（断熱材の種類：厚さ (mm)：防火性能：時間）
・行わない
タイトフレームを留め付ける下地材
材質形状寸法

工法
1章 16 適用区分による風圧力の（・1・1. 15・1. 3）倍の風圧力に対応した工法
耐害性能に対応した工法の適用
・適用する・適用しない

種類

形状

耐力による区分

材料による区分

厚さ (mm)

軒先面戸板

耐火性能

・山形瓦
・S形瓦
・F形瓦

製法による区分

寸法による区分

葺瓦
そで瓦
のし瓦
覆瓦
平瓦
雪止瓦

・有り
・無し

補強用心木の防腐・防蟻処理方法（
瓦葺結用釘又はねじ
種類材質等径及び長さ
・瓦葺結用釘
ステンレス製
・瓦葺結用ねじ
ステンレス製

棟補強用金物等

種類材質等形状、寸法及び留付け方法
・棟補強用金物
ステンレス製又は溶融亜鉛めっき処理を行った銅製

工法
1章 16 適用区分による風圧力の（・1・1. 15・1. 3）倍の風圧力に対応した工法
瓦の繋結方法等工法 ※図示による
瓦葺木の留付け工法 ※図示・
雪止め・設置する（施工箇所 ※図示・）
棟の工法 ※木造標準仕様書14. 5. 3(5) (ア)～(エ)までによる・

面戸、省口及び葺土の露出する瓦接合部に仕上げを施す場合
・モルタル
・瓦葺き用しっくい

種類寸法 (mm)

役物
・横
・縦

着色 (色調)

備考

・平形
・波形成

・
・

・無
・有（ ）
・無
・有（ ）

工法
1章 16 適用区分による風圧力の（・1・1. 15・1. 3）倍の風圧力に対応した工法とし、
施工計画書として提出する
雪止め・設置する（施工箇所 ※図示・）

品質形状色調寸法 (mm)備考

工法
1章 16 適用区分による風圧力の（・1・1. 15・1. 3）倍の風圧力に対応した工法とし、
施工計画書として提出する
雪止め・設置する（施工箇所 ※図示・）

品質形状色調寸法 (mm)備考

3

折板葺
(14. 4. 2)

施工箇所

形式

山高、山ピッチによる区分

耐力による区分

材料による区分

厚さ (mm)

軒先面戸板

耐火性能

・重ね形
・はぜ絡み形

山高
山ピッチ

（ ）種

※銅板製
・アルミニウム合金板製

・有り
・無し

・30分
・無し

材料

板及びコイルの種類（
屋根の耐久性、めっき付着量等の種類及び記号（
断熱材張り・行う（断熱材の種類：厚さ (mm)：防火性能：時間）
・行わない
タイトフレームを留め付ける下地材
材質形状寸法

工法
1章 16 適用区分による風圧力の（・1・1. 15・1. 3）倍の風圧力に対応した工法
耐害性能に対応した工法の適用
・適用する・適用しない

種類

形状

耐力による区分

材料による区分

厚さ (mm)

軒先面戸板

耐火性能

・山形瓦
・S形瓦
・F形瓦

製法による区分

寸法による区分

葺瓦
そで瓦
のし瓦
覆瓦
平瓦
雪止瓦

・有り
・無し

補強用心木の防腐・防蟻処理方法（
瓦葺結用釘又はねじ
種類材質等径及び長さ
・瓦葺結用釘
ステンレス製
・瓦葺結用ねじ
ステンレス製

棟補強用金物等

種類材質等形状、寸法及び留付け方法
・棟補強用金物
ステンレス製又は溶融亜鉛めっき処理を行った銅製

工法
1章 16 適用区分による風圧力の（・1・1. 15・1. 3）倍の風圧力に対応した工法
瓦の繋結方法等工法 ※図示による
瓦葺木の留付け工法 ※図示・
雪止め・設置する（施工箇所 ※図示・）
棟の工法 ※木造標準仕様書14. 5. 3(5) (ア)～(エ)までによる・

面戸、省口及び葺土の露出する瓦接合部に仕上げを施す場合
・モルタル
・瓦葺き用しっくい

種類寸法 (mm)

役物
・横
・縦

着色 (色調)

備考

・平形
・波形成

・
・

・無
・有（ ）
・無
・有（ ）

工法
1章 16 適用区分による風圧力の（・1・1. 15・1. 3）倍の風圧力に対応した工法とし、
施工計画書として提出する
雪止め・設置する（施工箇所 ※図示・）

品質形状色調寸法 (mm)備考

4

粘土瓦葺
(14. 5. 2)

種類

形状

耐力による区分

材料による区分

厚さ (mm)

軒先面戸板

耐火性能

・山形瓦
・S形瓦
・F形瓦

製法による区分

寸法による区分

葺瓦
そで瓦
のし瓦
覆瓦
平瓦
雪止瓦

・有り
・無し

補強用心木の防腐・防蟻処理方法（
瓦葺結用釘又はねじ
種類材質等径及び長さ
・瓦葺結用釘
ステンレス製
・瓦葺結用ねじ
ステンレス製

棟補強用金物等

種類材質等形状、寸法及び留付け方法
・棟補強用金物
ステンレス製又は溶融亜鉛めっき処理を行った銅製

工法
1章 16 適用区分による風圧力の（・1・1. 15・1. 3）倍の風圧力に対応した工法
瓦の繋結方法等工法 ※図示による
瓦葺木の留付け工法 ※図示・
雪止め・設置する（施工箇所 ※図示・）
棟の工法 ※木造標準仕様書14. 5. 3(5) (ア)～(エ)までによる・

面戸、省口及び葺土の露出する瓦接合部に仕上げを施す場合
・モルタル
・瓦葺き用しっくい

種類寸法 (mm)

役物
・横
・縦

着色 (色調)

備考

・平形
・波形成

・
・

・無
・有（ ）
・無
・有（ ）

工法
1章 16 適用区分による風圧力の（・1・1. 15・1. 3）倍の風圧力に対応した工法とし、
施工計画書として提出する
雪止め・設置する（施工箇所 ※図示・）

品質形状色調寸法 (mm)備考

5

スレート瓦
(14. 6. 2)

種類

形状

耐力による区分

材料による区分

厚さ (mm)

軒先面戸板

耐火性能

・山形瓦
・S形瓦
・F形瓦

製法による区分

寸法による区分

葺瓦
そで瓦
のし瓦
覆瓦
平瓦
雪止瓦

・有り
・無し

補強用心木の防腐・防蟻処理方法（
瓦葺結用釘又はねじ
種類材質等径及び長さ
・瓦葺結用釘
ステンレス製
・瓦葺結用ねじ
ステンレス製

棟補強用金物等

種類材質等形状、寸法及び留付け方法
・棟補強用金物
ステンレス製又は溶融亜鉛めっき処理を行った銅製

工法
1章 16 適用区分による風圧力の（・1・1. 15・1. 3）倍の風圧力に対応した工法とし、
施工計画書として提出する
雪止め・設置する（施工箇所 ※図示・）

面戸、省口及び葺土の露出する瓦接合部に仕上げを施す場合
・モルタル
・瓦葺き用しっくい

種類寸法 (mm)

役物
・横
・縦

着色 (色調)

備考

・平形
・波形成

・
・

・無
・有（ ）
・無
・有（ ）

工法
1章 16 適用区分による風圧力の（・1・1. 15・1. 3）倍の風圧力に対応した工法とし、
施工計画書として提出する
雪止め・設置する（施工箇所 ※図示・）

品質形状色調寸法 (mm)備考

6

アスファルトシングル葺
(14. 7. 2)

種類

形状

耐力による区分

材料による区分

厚さ (mm)

軒先面戸板

耐火性能

・山形瓦
・S形瓦
・F形瓦

製法による区分

寸法による区分

葺瓦
そで瓦
のし瓦
覆瓦
平瓦
雪止瓦

・有り
・無し

補強用心木の防腐・防蟻処理方法（
瓦葺結用釘又はねじ
種類材質等径及び長さ
・瓦葺結用釘
ステンレス製
・瓦葺結用ねじ
ステンレス製

棟補強用金物等

種類材質等形状、寸法及び留付け方法
・棟補強用金物
ステンレス製又は溶融亜鉛めっき処理を行った銅製

工法
1章 16 適用区分による風圧力の（・1・1. 15・1. 3）倍の風圧力に対応した工法とし、
施工計画書として提出する
雪止め・設置する（施工箇所 ※図示・）

面戸、省口及び葺土の露出する瓦接合部に仕上げを施す場合
・モルタル
・瓦葺き用しっくい

種類寸法 (mm)

役物
・横
・縦

着色 (色調)

備考

・平形
・波形成

・
・

・無
・有（ ）
・無
・有（ ）

工法
1章 16 適用区分による風圧力の（・1・1. 15・1. 3）倍の風圧力に対応した工法とし、
施工計画書として提出する
雪止め・設置する（施工箇所 ※図示・）

品質形状色調寸法 (mm)備考

7

とい

(14. 8. 2)

種類

形状

耐力による区分

材料による区分

厚さ (mm)

軒先面戸板

耐火性能

・山形瓦
・S形瓦
・F形瓦

製法による区分

寸法による区分

葺瓦
そで瓦
のし瓦
覆瓦
平瓦
雪止瓦

・有り
・無し

補強用心木の防腐・防蟻処理方法（
瓦葺結用釘又はねじ
種類材質等径及び長さ
・瓦葺結用釘
ステンレス製
・瓦葺結用ねじ
ステンレス製

棟補強用金物等

種類材質等形状、寸法及び留付け方法
・棟補強用金物
ステンレス製又は溶融亜鉛めっき処理を行った銅製

工法
1章 16 適用区分による風圧力の（・1・1. 15・1. 3）倍の風圧力に対応した工法とし、
施工計画書として提出する
雪止め・設置する（施工箇所 ※図示・）

面戸、省口及び葺土の露出する瓦接合部に仕上げを施す場合
・モルタル
・瓦葺き用しっくい

種類寸法 (mm)

役物
・横
・縦

着色 (色調)

備考

・平形
・波形成

・
・

・無
・有（ ）
・無
・有（ ）

工法
1章 16 適用区分による風圧力の（・1・1. 15・1. 3）倍の風圧力に対応した工法とし、
施工計画書として提出する
雪止め・設置する（施工箇所 ※図示・）

品質形状色調寸法 (mm)備考

8

ステンレス製建具
(16. 6. 2~4)

種類

形状

耐力による区分

材料による区分

厚さ (mm)

軒先面戸板

耐火性能

・山形瓦
・S形瓦
・F形瓦

製法による区分

寸法による区分

葺瓦
そで瓦
のし瓦
覆瓦
平瓦
雪止瓦

・有り
・無し

補強用心木の防腐・防蟻処理方法（
瓦葺結用釘又はねじ
種類材質等径及び長さ
・瓦葺結用釘
ステンレス製
・瓦葺結用ねじ
ステンレス製

棟補強用金物等

種類材質等形状、寸法及び留付け方法
・棟補強用金物
ステンレス製又は溶融亜鉛めっき処理を行った銅製

工法
1章 16 適用区分による風圧力の（・1・1. 15・1. 3）倍の風圧力に対応した工法とし、
施工計画書として提出する
雪止め・設置する（施工箇所 ※図示・）

面戸、省口及び葺土の露出する瓦接合部に仕上げを施す場合
・モルタル
・瓦葺き用しっくい

種類寸法 (mm)

役物
・横
・縦

着色 (色調)

備考

・平形
・波形成

・
・

・無
・有（ ）
・無
・有（ ）

工法
1章 16 適用区分による風圧力の（・1・1. 15・1. 3）倍の風圧力に対応した工法とし、
施工計画書として提出する
雪止め・設置する（施工箇所 ※図示・）

品質形状色調寸法 (mm)備考

9

木製建具
(16. 7. 2~4)

種類

形状

耐力による区分

材料による区分

厚さ (mm)

軒先面戸板

耐火性能

・山形瓦
・S形瓦
・F形瓦

製法による区分

寸法による区分

葺瓦
そで瓦
のし瓦
覆瓦
平瓦
雪止瓦

・有り
・無し

補強用心木の防腐・防蟻処理方法（
瓦葺結用釘又はねじ
種類材質等径及び長さ
・瓦葺結用釘
ステンレス製
・瓦葺結用ねじ
ステンレス製

棟補強用金物等

種類材質等形状、寸法及び留付け方法
・棟補強用金物
ステンレス製又は溶融亜鉛めっき処理を行った銅製

工法
1章 16 適用区分による風圧力の（・1・1. 15・1. 3）倍の風圧力に対応した工法とし、
施工計画書として提出する
雪止め・設置する（施工箇所 ※図示・）

面戸、省口及び葺土の露出する瓦接合部に仕上げを施す場合
・モルタル
・瓦葺き用しっくい

種類寸法 (mm)

役物
・横
・縦

着色 (色調)

備考

・平形
・波形成

・
・

・無
・有（ ）
・無
・有（ ）

工法
1章 16 適用区分による風圧力の（・1・1. 15・1. 3）倍の風圧力に対応した工法とし、
施工計画書として提出する
雪止め・設置する（施工箇所 ※図示・）

品質形状色調寸法 (mm)備考

10

建具用金物
(16. 8. 2~3)

種類

形状

耐力による区分

材料による区分

厚さ (mm)

軒先面戸板

耐火性能

・山形瓦
・S形瓦
・F形瓦

製法による区分

寸法による区分

葺瓦
そで瓦
のし瓦
覆瓦
平瓦
雪止瓦

・有り
・無し

補強用心木の防腐・防蟻処理方法（
瓦葺結用釘又はねじ
種類材質等径及び長さ
・瓦葺結用釘
ステンレス製
・瓦葺結用ねじ
ステンレス製

棟補強用金物等

種類材質等形状、寸法及び留付け方法
・棟補強用金物
ステンレス製又は溶融亜鉛めっき処理を行った銅製

工法
1章 16 適用区分による風圧力の（・1・1. 15・1. 3）倍の風圧力に対応した工法とし、
施工計画書として提出する
雪止め・設置する（施工箇所 ※図示・）

面戸、省口及び葺土の露出する瓦接合部に仕上げを施す場合
・モルタル
・瓦葺き用しっくい

種類寸法 (mm)

役物
・横
・縦

着色 (色調)

備考

・平形
・波形成

・
・

・無
・有（ ）
・無
・有（ ）

工法
1章 16 適用区分による風圧力の（・1・1. 15・1. 3）倍の風圧力に対応した工法とし、
施工計画書として提出する
雪止め・設置する（施工箇所 ※図示・）

品質形状色調寸法 (mm)備考

11

鍵
(16. 8. 4)

種類

形状

耐力による区分

材料による区分

厚さ (mm)

軒先面戸板

耐火性能

・山形瓦
・S形瓦
・F形瓦

製法による区分

寸法による区分

葺瓦
そで瓦
のし瓦
覆瓦
平瓦
雪止瓦

・有り
・無し

補強用心木の防腐・防蟻処理方法（
瓦葺結用釘又はねじ
種類材質等径及び長さ
・瓦葺結用釘
ステンレス製
・瓦葺結用ねじ
ステンレス製

棟補強用金物等

種類材質等形状、寸法及び留付け方法
・棟補強用金物
ステンレス製又は溶融亜鉛めっき処理を行った銅製

工法
1章 16 適用区分による風圧力の（・1・1. 15・1. 3）倍の風圧力に対応した工法とし、
施工計画書として提出する
雪止め・設置する（施工箇所 ※図示・）

面戸、省口及び葺土の露出する瓦接合部に仕上げを施す場合
・モルタル
・瓦葺き用しっくい

種類寸法 (mm)

役物
・横
・縦

着色 (色調)

備考

・平形
・波形成

・
・

・無
・有（ ）
・無
・有（ ）

工法
1章 16 適用区分による風圧力の（・1・1. 15・1. 3）倍の風圧力に対応した工法とし、
施工計画書として提出する
雪止め・設置する（施工箇所 ※図示・）

品質形状色調寸法 (mm)備考

12

自動ドア開閉装置
(16. 9. 2~3)

種類

形状

耐力による区分

材料による区分

厚さ (mm)

軒先面戸板

耐火性能

・山形瓦
・S形瓦
・F形瓦

製法による区分

寸法による区分

葺瓦
そで瓦
のし瓦
覆瓦
平瓦
雪止瓦

・有り
・無し

補強用心木の防腐・防蟻処理方法（
瓦葺結用釘又はねじ
種類材質等径及び長さ
・瓦葺結用釘
ステンレス製
・瓦葺結用ねじ
ステンレス製

棟補強用金物等

種類材質等形状、寸法及び留付け方法
・棟補強用金物
ステンレス製又は溶融亜鉛めっき処理を行った銅製

工法
1章 16 適用区分による風圧力の（・1・1. 15・1. 3）倍の風圧力に対応した工法とし、
施工計画書として提出する
雪止め・設置する（施工箇所 ※図示・）

面戸、省口及び葺土の露出する瓦接合部に仕上げを施す場合
・モルタル
・瓦葺き用しっくい

種類寸法 (mm)

役物
・横
・縦

着色 (色調)

備考

・平形
・波形成

・
・

・無
・有（ ）
・無
・有（ ）

工法
1章 16 適用区分による風圧力の（・1・1. 15・1. 3）倍の風圧力に対応した工法とし、
施工計画書として提出する
雪止め・設置する（施工箇所 ※図示・）

品質形状色調寸法 (mm)備考

13

自動ドア開閉装置
(16. 9. 2~3)

種類

形状

耐力による区分

材料による区分

厚さ (mm)

軒先面戸板

耐火性能

・山形瓦
・S形瓦
・F形瓦

製法による区分

寸法による区分

葺瓦
そで瓦
のし瓦
覆瓦
平瓦
雪止瓦

・有り
・無し

補強用心木の防腐・防蟻処理方法（
瓦葺結用釘又はねじ
種類材質等径及び長さ
・瓦葺結用釘
ステンレス製
・瓦葺結用ねじ
ステンレス製

棟補強用金物等

種類材質等形状、寸法及び留付け方法
・棟補強用金物
ステンレス製又は溶融亜鉛めっき処理を行った銅製

工法
1章 16 適用区分による風圧力の（・1・1. 15・1. 3）倍の風圧力に対応した工法とし、
施工計画書として提出する
雪止め・設置する（施工箇所 ※図示・）

面戸、省口及び葺土の露出する瓦接合部に仕上げを施す場合
・モルタル
・瓦葺き用しっくい

種類寸法 (mm)

役物
・横
・縦

着色 (色調)

備考

・平形
・波形成

・
・

・無
・有（ ）
・無
・有（ ）

工法
1章 16 適用区分による風圧力の（・1・1. 15・1. 3）倍の風圧力に対応した工法とし、
施工計画書として提出する
雪止め・設置する（施工箇所 ※図示・）

品質形状色調寸法 (mm)備考

14

自動ドア開閉装置
(16. 9. 2~3)

種類

形状

耐力による区分

材料による区分

厚さ (mm)

軒先面戸板

耐火性能

・山形瓦
・S形瓦
・F形瓦

製法による区分

寸法による区分

葺瓦
そで瓦
のし瓦
覆瓦
平瓦
雪止瓦

・有り
・無し

補強用心木の防腐・防蟻処理方法（
瓦葺結用釘又はねじ
種類材質等径及び長さ
・瓦葺結用釘
ステンレス製
・瓦葺結用ねじ
ステンレス製

棟補強用金物等

種類材質等形状、寸法及び留付け方法
・棟補強用金物
ステンレス製又は溶融亜鉛めっき処理を行った銅製

工法
1章 16 適用区分による風圧力の（・1・1. 15・1. 3）倍の風圧力に対応した工法とし、
施工計画書として提出する
雪止め・設置する（施工箇所 ※図示・）

面戸、省口及び葺土の露出する瓦接合部に仕上げを施す場合
・モルタル
・瓦葺き用しっくい

種類寸法 (mm)

役物
・横
・縦

着色 (色調)

備考

・平形
・波形成

・
・

・無
・有（ ）
・無
・有（ ）

工法
1章 16 適用区分による風圧力の（・1・1. 15・1. 3）倍の風圧力に対応した工法とし、
施工計画書として提出する
雪止め・設置する（施工箇所 ※図示・）

品質形状色調寸法 (mm)備考

15

自動ドア開閉装置
(16. 9. 2~3)

種類

形状

耐力による区分

材料による区分

厚さ (mm)

軒先面戸板

耐火性能

・山形瓦
・S形瓦
・F形瓦

製

6階段滑止め
[20.2.7]

7黒板及びホワイトボード
[20.2.9]

8鏡
[20.2.10]

9表示
[20.2.11]

10煙突ライニング
[20.2.13]

11ブラインド
[20.2.14]

12ロールスクリーン(G)
[20.2.15]

13カーテン及びカーテンレール
[20.2.16]

14点検口

15旗竿受金物

16車止め支柱

17フェンス

18屋内掲示板(G)

19収納家具(G)

20屋外掲示板(G)

21くつつきマット

22階段手すり笠木

23天井見切り縁

24ビクチャーレール

25誘導用床材、注意喚起用床材

材種ステンレス製(SUS304)(・埋込工法 ※接着工法)
端部フラットエンド ※有(※タイヤと同材・ステンレス鋼) ・無
型式 ※ビルタイヤ又は合成ゴムタイヤ入り
幅(mm) ※約35

・ホワイトボード(G) ほうろう 形状及び寸法は図示による
・黒板(G) 種類 ・鋼製黒板 ・ほうろう黒板
色彩 ※緑 ・黒 ・白
形状及び寸法は図示による

取付箇所 ○図示による ・()
寸法(mm) ○図示による ・
厚さ(mm) ※5 ・

・案内板
・施設案内板(※標準詳細図による ・図示による)
・各階案内板(※標準詳細図による ・図示による)
・視覚障害者用案内板(※共通詳細図による ・図示による)
※標準詳細図による ○有版品
標準案内図用記号 ※JIS Z 8210による ・図示による
形状・その他 ※図示による
・施設文字 ※標準詳細図による ・
字数() 文字の大きさ(x)
・対人衝突防止表示 ・図示による
・非常用進入口 ・図示による
案内図用記号はJIS Z 8210による

・煙突用成形ライニング材
適用安全使用温度 ※400℃ ・650℃
・キャストابل耐火材
※煙突用成形ライニング材の指定する製品とする

形 式 ・機型ブラインド(G) ・縦型ブラインド(G)(防火性能を有するもの)
スラットの材種 アルミニウム合金製 ・アルミスラット・クロススラット
スラットの種類 ※ギア式 ・コード式 ※1本操作コード式
スラットの幅(mm) ※25 ・35 ・80以上 ・100

材種 ・図示による ・
遮光性能 ・図示による ・
寸法 ・図示による ・
操作方法 ・電動式 ・スプリング式 ・コード式(チェーン式)

カーテン(G)
施工箇所 形式 開閉形式 カーテン操作方式 きれ地の品質等(製造所) ひだの種類
・シングル ・片引き ・引分 ※手動 ・電動
・ダブル
・シングル ・片引き ・引分 ※手動 ・電動
・ダブル

カーテンレール及び付属金物
施工箇所 強さによる区分 材料による区分 仕上げ 形状 付属金物
・10-60 ※アルミニウム ・ ※アルマイト ・ ※角形
※10-90 ・
・10-60 ※アルミニウム ・ ※アルマイト ・ ※角形
※10-90 ・

暗幕用は300mm以上の召し合せの重掛けとする

・天井 材種 アルミニウム製 寸法(mm) ※450×450 ・600×600
形式 一般型 外枠 ・縦継タイプ ・目地タイプ
内枠 ・縦継タイプ ・目地タイプ
・床 材種 アルミニウム製 寸法(mm) ・450×450 ※600×600
形式 ※屋内用一般型 ・密閉形

材 種 ・ステンレス製(SUS304) ・

形式 材種 柱径・肉厚(mm) 高さ(mm)
・上下式鎖内蔵式 ・標準品 ・ステンレス製 ・
・スプリング式 ・
・

フェンスの種類 ・ビニル被覆エキスパンドフェンス ・鋼管フェンス
・樹脂塗装メッシュフェンス ・アルミフェンス
高さ ・図示 ・

枠の材質 ※アルミニウム製
表面の材質 ※塩化ビニルシート張り

材質、形状、寸法 ※ 図示
合板類、MDF 及び パーティクルボードのホルムアルデヒドの放散量
※規制対象外 ・

本体材質 ※ステンレス製 掲示板面材質 ・
照明器具 ・有り ・無し
施設設置 ※有り ・無し
形状寸法 ※図示による ・

・塩化ビニル又はゴム製(受け枠ステンレス製(SUS304)) ワンライン型
・硬質アルミニウム合金製(受け枠ステンレス製(SUS304))
・ステンレス製(SUS304)(受け枠ステンレス製(SUS304))

材質 表面仕上げ 直径(mm) 取付箇所
・集成材 ・CL ・ ・60・45・40・
・ステンレスパイプ ・HL ・ ・60・45・40・
・鋼製パイプ ・SOP ・EP-G ・60・45・40・
・ビニル製

材種 ・アルミニウム既製品 ・ビニル既製品

・見切り縁兼用タイプ ・
移動フック ケ/㎡ 安全荷重 ※15kg以上 ・

材種 ・レジンコンクリート製(厚さ60mm) ・磁器質タイル製
表面形状 JIS T 9251による
寸法 ※300×300 ・ 色 ・黄色 ・

26サイディング
[20.3.2]

21排水工事
[21.2.1]

2側塊、排水枡等
[21.2.1]

3街きよ、縁石、側溝
[21.3.2]

22舗装工事
[22.2.2~5]

2路盤
[22.3.2~5]

3アスファルト舗装
[22.4.2~6]

4コンクリート舗装
[22.5.2~6]

5カラー舗装
[22.6.2~4]

6透水性アスファルト舗装
[22.7.2~6]

サイディング材
種類 形状 働き長さ働き幅 厚さ(mm) 表面仕上げ 耐凍害性能 防火・耐火性能
○ 窯業系 ・ ・ ・ ○16 ・ ・ ・
張り方 ・縦張り ○横張り
換気口部の防水措置 ※木造標準仕様書20.3.2(ウ)(a)①~④までによる ・

排水管用材料
材種 種類・記号 形状 呼び径 備考
・遠心力鉄筋コンクリート管 ※外圧管(1種) ・B形管 ・ ※図示 ・
・硬質ポリ塩化ビニル管 ・VP ・ ※図示 ・
・VU ・ ※図示 ・
・RS-VU(G) ・ ※図示 ・

・側塊
形状及び寸法 ・図示 ・
・鉄鉄製ふた
名称 種類 適用荷重 壁 備考
鉄製マンホールふた ・水封形 ・簡易密閉形(パッキン式) ・T-2用 ・有り 左記以外の品質等は空気調和衛生工学会SHASE-S209による
・密閉形(テーパー・パッキン式) ・T-20用
・中ふた付き密閉形(テーパー・パッキン式) ・
塩ビ製 ・RS-VU(G) ・
・グレーチング
材質 形式 用途 適用荷重 引込ビッチ 垂胎めっき(付着量) 上面形状
・鋼製 ・受付け、ホールふた ・鋼製 ・歩行用 ・ ・ () ・凹凸形
・ステンレス製 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・
・ ・ ・ ・ ・ ・ ・
・ ・ ・ ・ ・ ・ ・

種類 形状、寸法
○縁石 ○ 図示 ・
・U形側溝 ・ 図示 ・
・U形側溝ふた ・ 図示 ・

路床の材料 (22.2.2,3,5)(表22.2.1)
種類 材料 厚さ(mm)
・盛土 ・A種 ・B種 ・C種 ・D種 ・ 図示 ・
・建設汚泥から再生した処理土(G)
・遮断層 ・川砂、海砂又は良質な山砂(75WU+0380mふるい通過量10%以下) ・ 図示 ・
・凍上抑制層 ・再生クラッシャーラン(G) ・クラッシャーラン ・切込み砂利 ・ 図示 ・
・川砂、海砂又は良質な山砂(75WU+0380mふるい通過量10%以下) ・
・フィルター層 ・川砂、海砂又は良質な山砂(75WU+0380mふるい通過量6%以下) ・ 図示 ・

路床安定処理
・添加材料による安定処理 種類 ・普通ポルトランドセメント ・高炉セメントB種
・フライアッシュセメントB種
・生石灰(・特号・1号) ・消石灰(・特号・1号)
添加量 kg(目標CBR ・5以上 ・)
試験 路床土の支持力比(CBR)試験 ※行わない ・行う
路床締固め度の試験 ※行わない ・行う
現場CBR試験 ※行わない ・行う

路盤の厚さ ○図示 ・
路盤材料 ・砕石 ○再生クラッシャーラン ・クラッシャーラン鉄鋼スラグ(G) ・ 図示
試験 路盤締固め度の試験 ※行わない ・行う

アスファルト舗装の構成及び厚さ ※図示 ・
材料
アスファルト ○再生アスファルト(G) ・ストレータアスファルト
骨材 ・道路用砕石 ○アスファルトコンクリート再生骨材(G)
加熱アスファルト混合物等の種類
区分 地域 種類
表層 ○一般地域 ○密粒度アスファルト混合物(13)
・細粒度アスファルト混合物(13)
・寒冷地域 ・密粒度アスファルト混合物(13F)
基層 一般及び寒冷地域 粗粒度アスファルト混合物(20)
シールコートの施工 ※行わない ・行う
試験 アスファルト混合物等の抽出試験 ※行わない ・行う

コンクリート舗装の構成及び厚さ
舗装の種類 部位 厚さ(mm)
コンクリート舗装 歩道部 ・ 図示 ・150 ・
○ 図示 ・70 ・

縁部立下り寸法等 ・図示
材料
コンクリート ・標準仕様書表22.5.2による ・
早強ポルトランドセメント ・使用する ・使用しない
注入目地材料 ※低弾性タイプ ・高弾性タイプ
目地
種類、間隔、構造 ※標準仕様書表22.5.3及び図22.5.1による ・図示
試験 コンクリート版厚さの試験 ・行う ・行わない

・加熱系カラー舗装
構成・厚さ ※図示 ・
加熱系混合物の結合材 ・アスファルト混合物
・石油樹脂系混合物 顔料の添加量(%) ()、自然石()
着色骨材()、自然石()
・常温系カラー舗装
工法 ・コート工法 ・塗布工法
着色部の下部 ・アスファルト舗装 ・コンクリート舗装

舗装の構成 ※標準詳細図による ・図示による
アスファルト ※再生アスファルト(G) ・ストレータアスファルト
骨材 ※道路用砕石 ・アスファルトコンクリート再生骨材(G)
アスファルト混合物の抽出試験 ※行わない ・行う

7ブロック系舗装
[22.8.2~3]

8砂利敷き
[22.9.2]

9路面標示用塗料

23植栽工事
[23.1.3]

1樹木
[23.3.2~3]

4新植、移植樹木、芝等の枯保証
[23.3.4,6]
[23.4.7]

・コンクリート平板舗装
種類 寸法(mm) 厚さ(mm) 目地材 備考
※普通平板(N)(G) ※300角 ・60 ※砂 表面加工
・透水平板(P)(G) ・ ・ ・ 研ぎ出し ・洗い出し
・保水性平板(M) ・ ・ ・ ・たたき出し

・インターロッキングブロック舗装
種類 部位 形状・寸法 厚さ(mm) 曲げ強度(N/mm²) 備考
※普通ブロック(N)(G) 車道部 ※図示 ・ ※80 ※5.0 色彩、表面加工
・透水性ブロック(P)(G) 歩道部 ※図示 ・ ※60 ※3.0 ・ 標準品

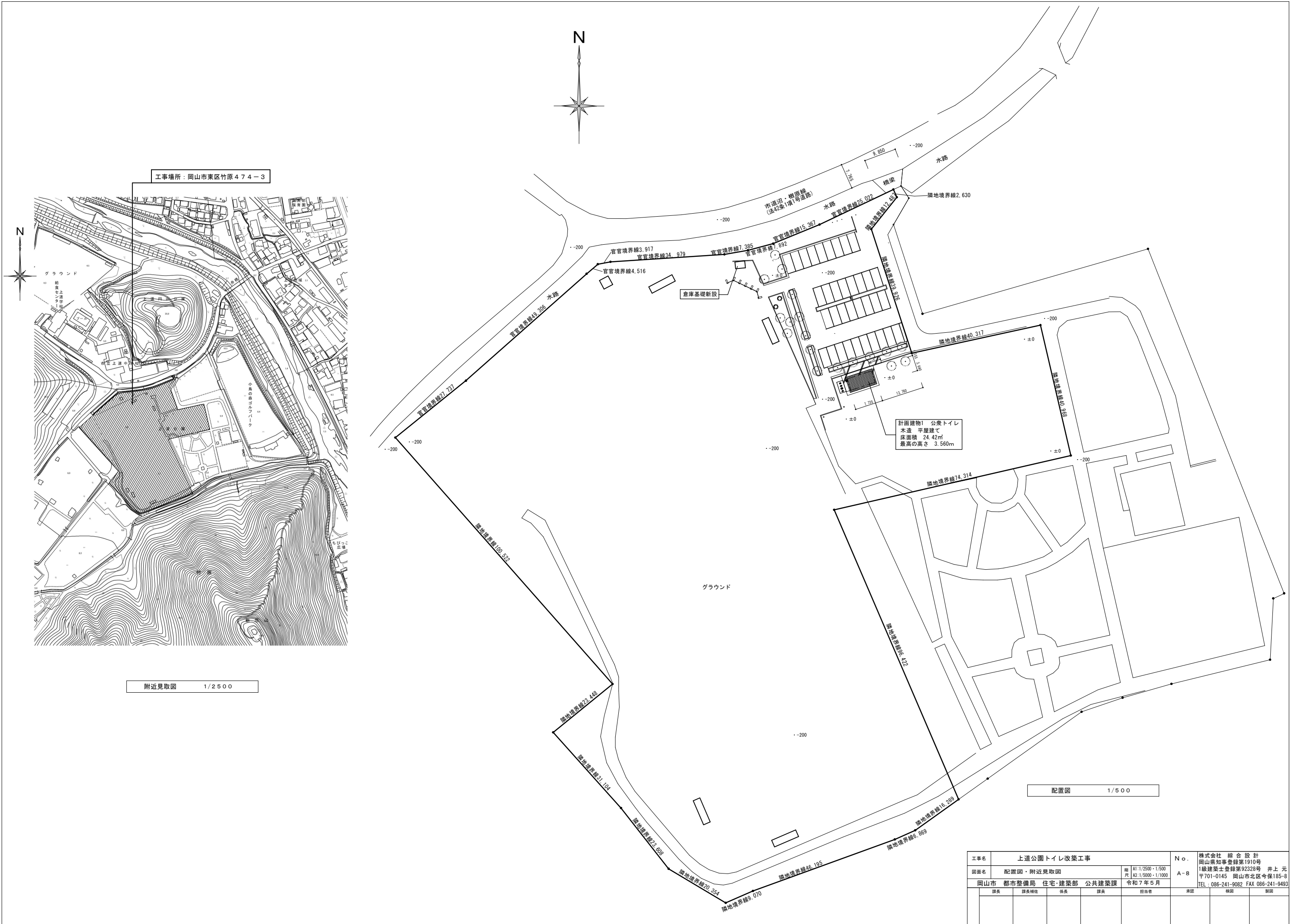
・鋪石舗装
種類 形状・寸法(mm) 厚さ(mm) 施工方法 基層 基層の厚さ(mm)
※花こう岩 ・ 図示 ・80 ・うるこ張り ・コンクリート舗装 ※70 ・
・ ・ ・ ・ ・ ・ アスファルト舗装 ※50 ・

種別
・A種(施工範囲・○図示 ・道路 ・)
・B種(施工範囲・○図示 ・建築物の周囲その他 ・)
JIS K 5665(路面標示用塗料)による
種類 施工 適用 色 幅(mm) 塗布厚さ(mm)
・1種(G) 常温 液状 ○白 ・ 150 ○1.0
・2種(G) 加熱 ・ ○100 ・
・3種1号 溶融 粉体状
低揮発性有機溶剤型の路面標示用水性塗料(G)

① 植栽地の確認 [23.1.3]
② 植栽基盤の整備 [23.2.2~4]
③ 樹木 [23.3.2~3]
④ 新植、移植樹木、芝等の枯保証 [23.3.4,6]
[23.4.7]
土壌の水素イオン濃度指数(pH)試験 ※行わない ・行う
電気伝導度(EC)の試験 ※行わない ・行う
植栽 工法 有効土層の厚さ(cm) 整備範囲 土壌改良材
○樹木 ※A種 樹高12m以上(※100・120・150) ・葉張り部分 ・適用する
・B種 樹高7m以上~12m未満(※80・100) ・植栽部分 ・適用しない
・C種 樹高3m以上~7m未満(※60・80) ・図示
・D種 樹高3m未満(※50・60) ・
※芝、地被類 ※B種 ※20 ・植栽部分 ・適用する
・ ・ ・ 図示 ・適用しない
植栽基盤の排水設備 ・設ける(※図示 ・) ・設けない
植込み用土
※現場発生土の良質土 ・客土
土壌改良材
・バーク堆肥(G)
施工箇所 ※植栽範囲 ・図示
使用量 植栽基盤面積1㎡あたり(・50L ・)
・汚泥発酵肥料(下水汚泥コンポスト)(G)
施工箇所 ※植栽範囲 ・図示
使用量 植栽基盤面積1㎡あたり(・10L ・)
材料
「金属等を含む産業廃棄物に係る判定基準を定める省令」の別表第1の基準に適合する原料を
使用したもので、植栽試験の調査の結果、害が認められないものとする
樹種、寸法、株立数等 ※図示
支柱材 ※丸太(間伐材)(G) ・真竹
○新植樹木(芝張り、吹付けは種及び地被類を含む)の枯保証の期間 ※引渡しの日から1年 ・無し
・移植樹木の枯損処置を行う期間 ※引渡しの日から1年 ・無し

工事名 上道公園トイレ改築工事 N○. A-06 株式会社 総合設計
岡山市 都市整備局 住宅・建設部 公共建築課 令和7年5月 1級建築士登録第92328号 井上 元
〒701-0145 岡山市北区今保185-8
TEL: 086-241-9082 FAX 086-241-9493

課長 課長補佐 係長 課員 担当 承認 機関 製図

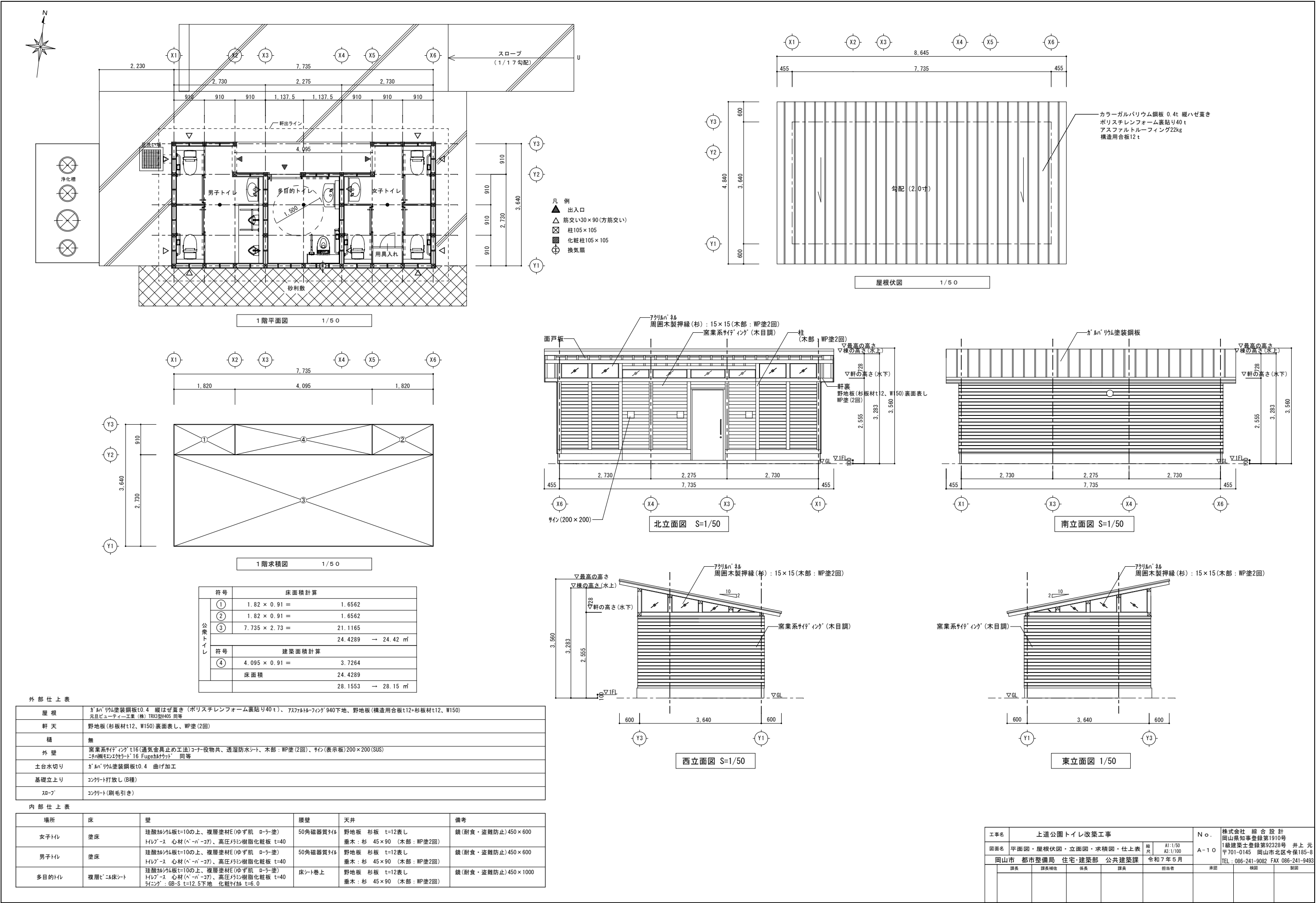


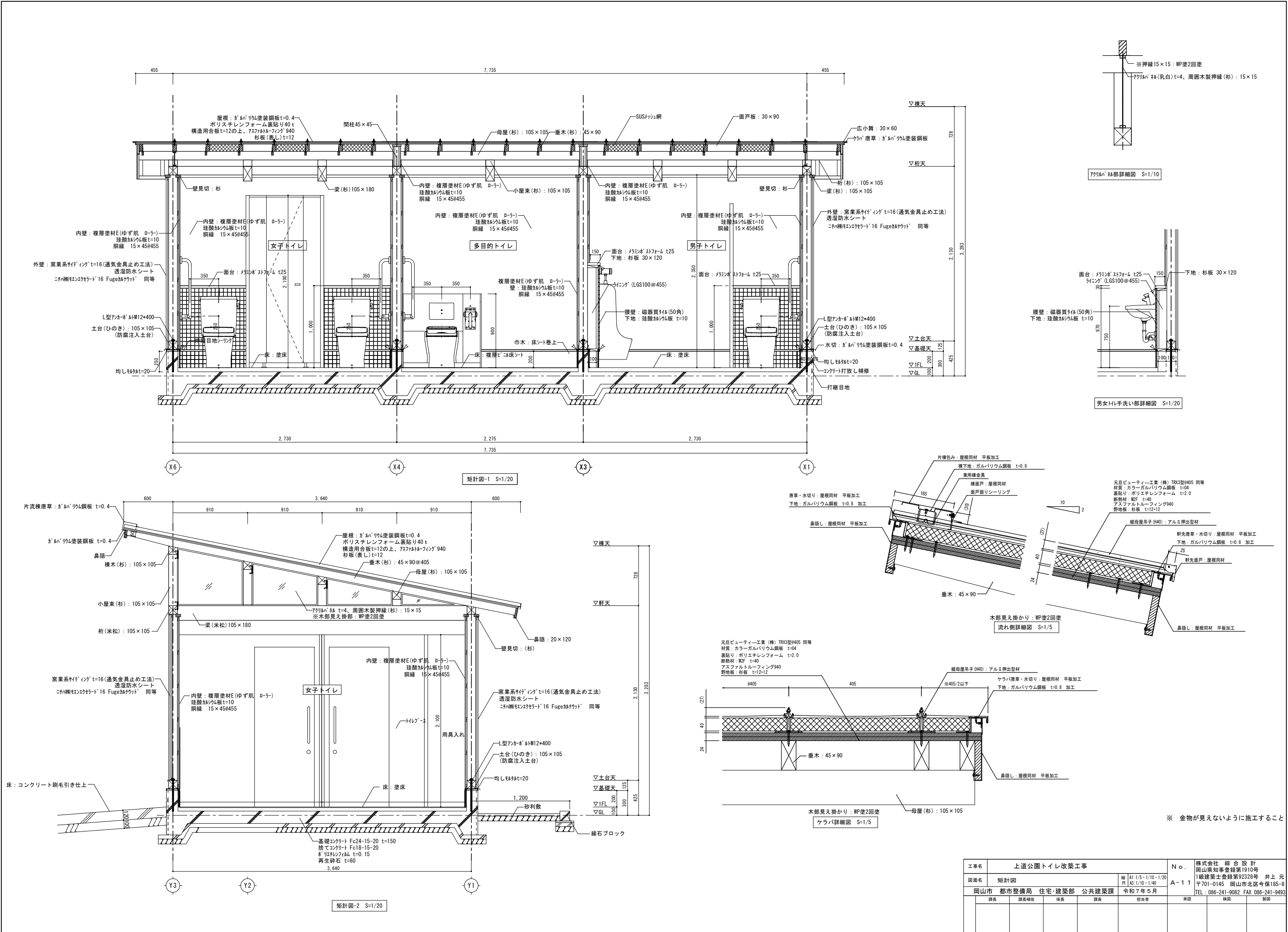
工事場所：岡山市東区竹原 4 7 4 - 3

附近見取図 1 / 2 5 0 0

配置図 1 / 5 0 0

工事名					上道公園トイレ改築工事		No.	株式会社 総合設計 岡山県知事登録第1910号 1級建築士登録第92328号 井上 元 〒701-0145 岡山市北区今保185-8 TEL : 086-241-9082 FAX 086-241-9493				
図面名					配置図・附近見取図			A-8				
岡山市 都市整備局 住宅・建築部 公共建築課					令和 7 年 5 月							
課長		課長補佐		係長		課員		担当者		承認	検図	製図





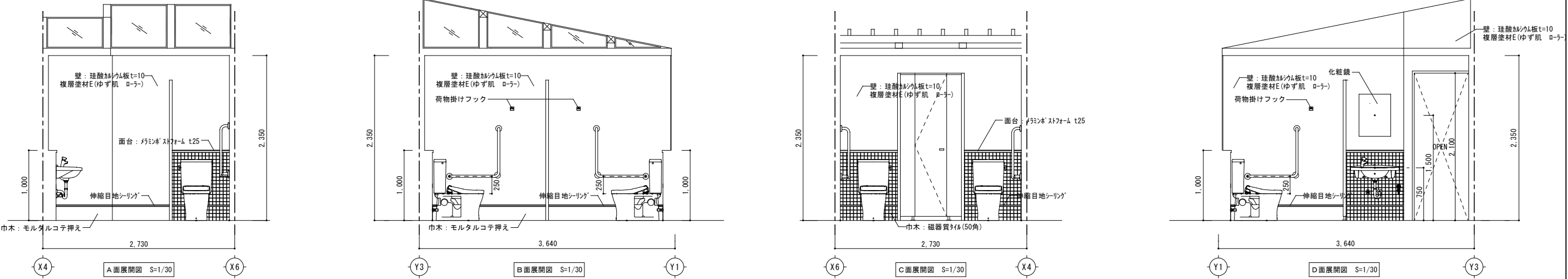
工事名		上道公園トイレ改築工事				No.		株式会社 綜合設計 岡山県知事登録第1910号	
図面名		矩計図		縮尺	A1:1/5・1/10・1/20 A3:1/10・1/40	A-1		1級建築士登録第92328号 井上 元 〒701-0145 岡山市北区今保185-8 TEL : 086-241-9082 FAX 086-241-9493	
岡山市 都市整備局 住宅・建築部 公共建築課						令和 7 年 5 月		承認	
	課長	課長補佐	係長	課員	担当者			検図	製図



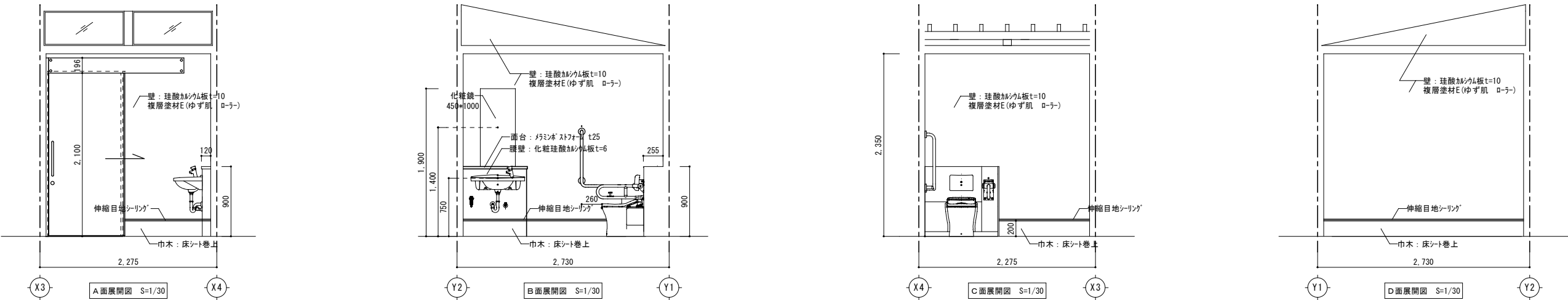
建具表		1/50																		
記号	位置	数量	(A)SD	多目的トイレ	1	(B)PB	女子トイレ	1	(B)PB	女子トイレ・男子トイレ	2	(B)PB	女子トイレ(用器入れ)	1	(B)PB	男子トイレ	1	(S)ST	男子・女子トイレ	2
※図																				
形式				片引き戸			H型ガラス(片引き戸)			H型ガラス(片引き戸)			H型ガラス(片引き戸)			H型ガラス(隔板)			ステンレス三方枠	
材質				亜鉛めっき鋼板<化粧鋼板>			高圧メラミン化粧板			高圧メラミン化粧板			高圧メラミン化粧板			高圧メラミン化粧板			ステンレス	
ガラス																				
金物				美和ロック錠 非常開錠 ステンレス鏡面ハンドルφ25 L=450、標準金物一式			SUS笠木、SUS巾木、非常開錠付サッシ、戸当たり帽子掛け ステンレス鏡面ハンドルφ25 L=450、標準金物一式			SUS笠木、SUS巾木、非常開錠付サッシ、戸当たり帽子掛け ステンレス鏡面ハンドルφ25 L=450、標準金物一式			引手、SUS笠木、SUS巾木、戸当たり帽子掛け MIWA ケースノド&(ツリゲ)付 7&7-エッジ(中心吊り)、標準金物一式			SUS笠木、SUS巾木 標準金物一式				
備考				三和シャッター工業(株): スムードS同等			三和シャッター工業(株): TA40H同等			三和シャッター工業(株): TA40H同等			三和シャッター工業(株): TA40H同等			三和シャッター工業(株): TA40H同等				

工事名	上道公園トイレ改築工事				No.		株式会社 綜合設計 岡山県知事登録第1910号
図面名	平面詳細図・建具表		縮尺	A1:1/20・1/50 A3:1/40・1/100	A-12	1級建築士登録第92328号 井上 元 〒701-0145 岡山市北区今保185-8 TEL: 086-241-9082 FAX 086-241-9493	
岡山市 都市整備局 住宅・建築部 公共建築課				令和2年5月			
課長		課長補佐	係長	課員	担当書	承認	製図

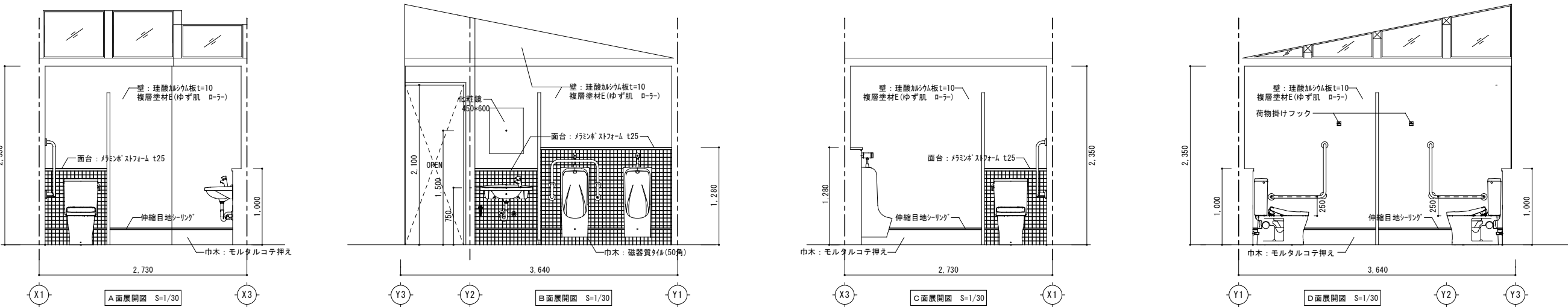
女子トイレ



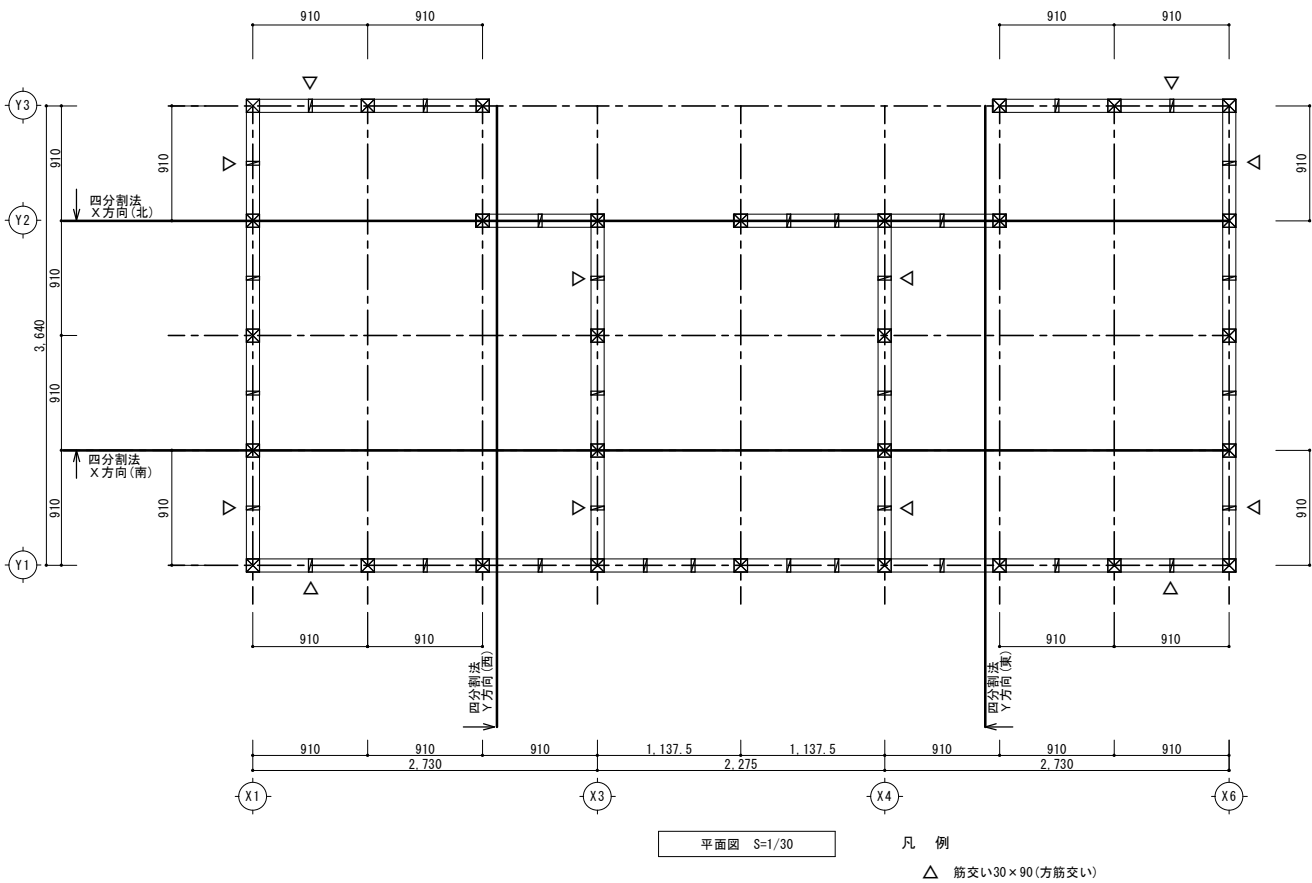
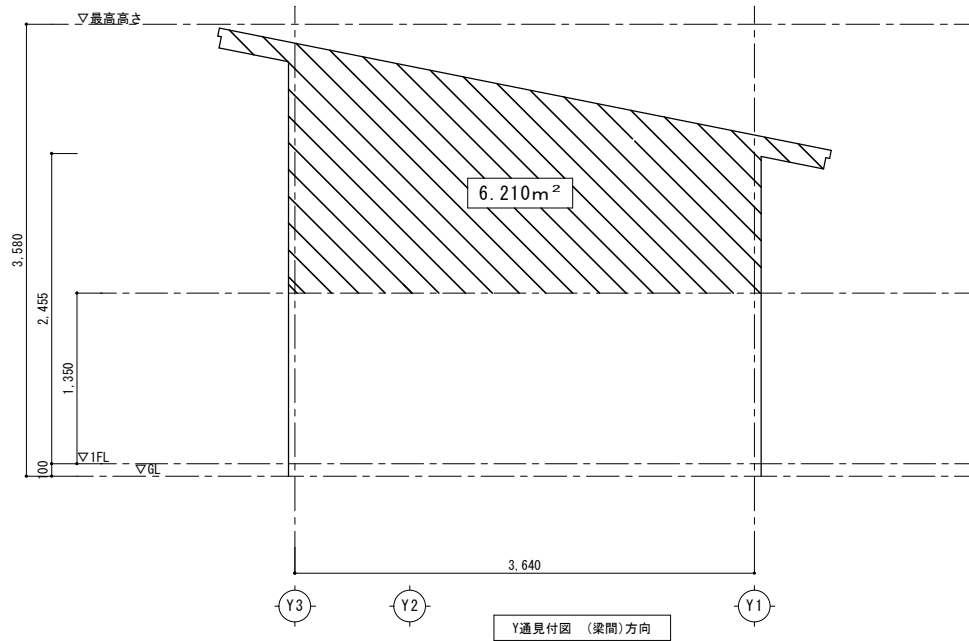
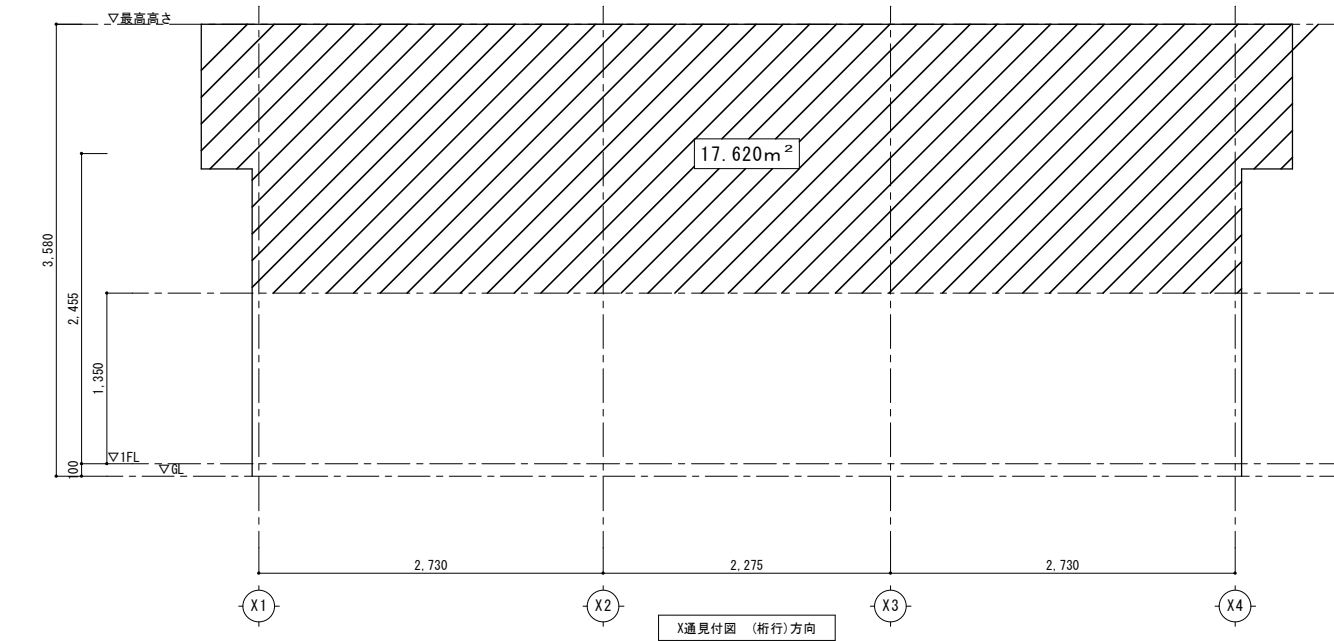
多目的トイレ



男子トイレ



工事名		上道公園トイレ改築工事			No.		株式会社 総合設計 岡山県知事登録第1910号		
図面名		展開図			縮尺	A1:1/30 A3:1/60	A-13	1級建築士登録第92328号 井上 元 〒701-0145 岡山市北区今保185-8 TEL: 086-241-9082 FAX 086-241-9493	
岡山市		都市整備局 住宅・建築部 公共建築課			令和7年5月				
	課長	課長補佐	係長	課員	担当者		承認	検図	製図



必要壁量の計算

必要壁量計算	地震力に対する必要壁量 (cm)		風圧力に対する必要壁量 (cm)		必要壁量 (cm)	
	X方向 (桁行)、Y方向 (梁間)		X方向 (桁行)	Y方向 (梁間)	X方向 (桁行)	Y方向 (梁間)
	床面積 (㎡) × 壁係数 = ① 28.15 × 11 = 309.65		床面積 (㎡) × 壁係数 = ② 6.210 × 50 = 310.5	床面積 (㎡) × 壁係数 = ③ 17.620 × 50 = 881.0	①、②のより大きい値 310.5 … ④	①、③のより大きい値 881.0 … ⑤
設計壁量計算	有効壁量 (cm)		判定			
	X方向 (桁行)	Y方向 (梁間)	X方向 (桁行)	判定	Y方向 (梁間)	判定
	壁長 (cm) × 壁倍率 = 有効壁長 364 × 1.5 = 546	壁長 (cm) × 壁倍率 = 有効壁長 728 × 1.5 = 1092	⑥ ④ 546 > 310.5	OKorNG	⑦ ⑤ 1092 > 881.0	OKorNG
	合計 ⑥ 546	合計 ⑦ 1092				

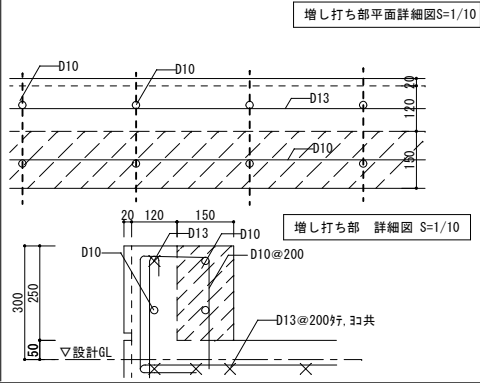
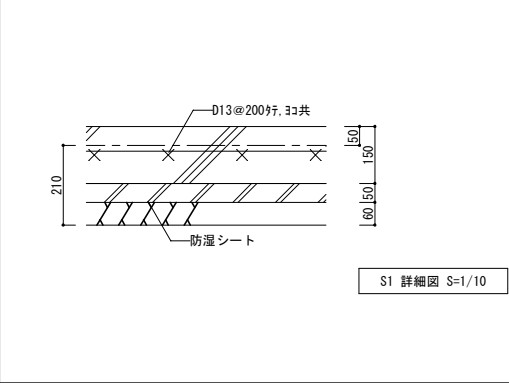
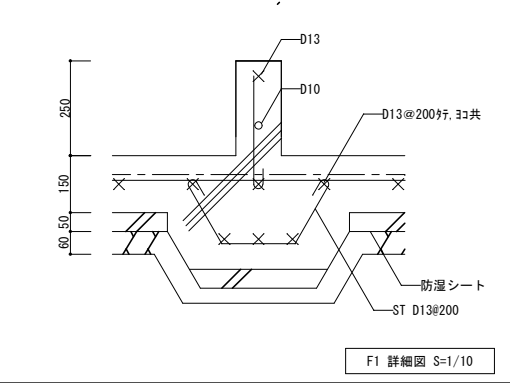
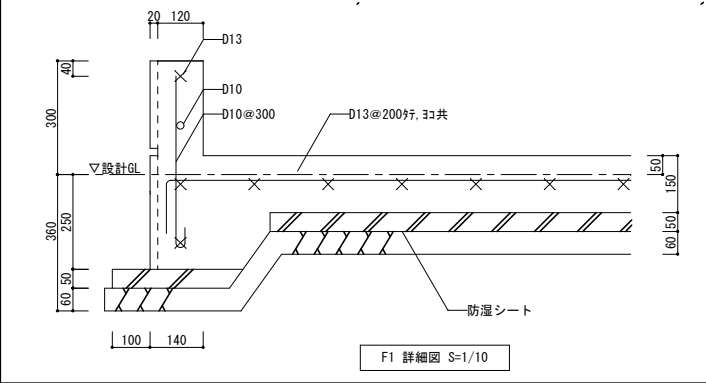
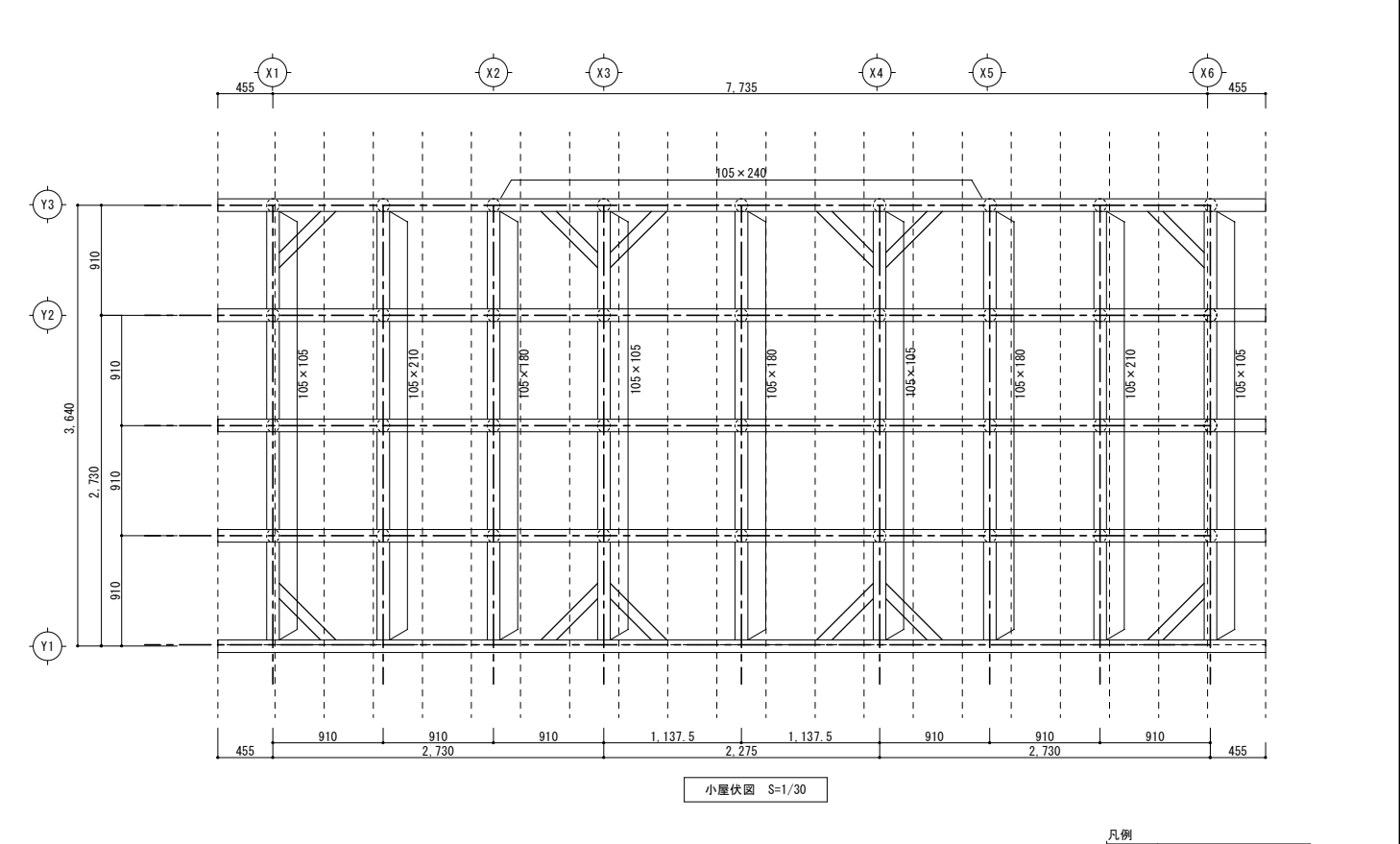
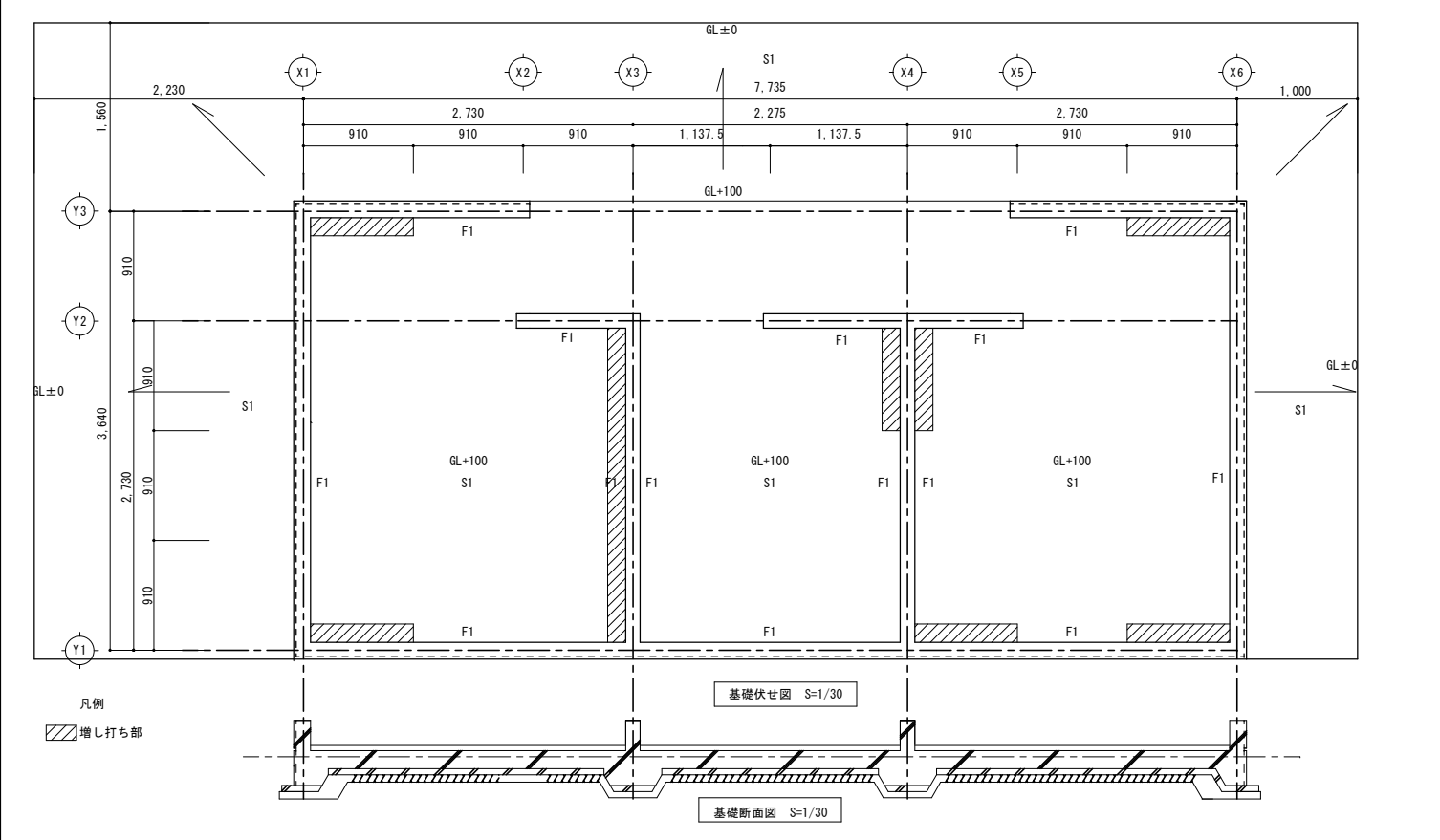
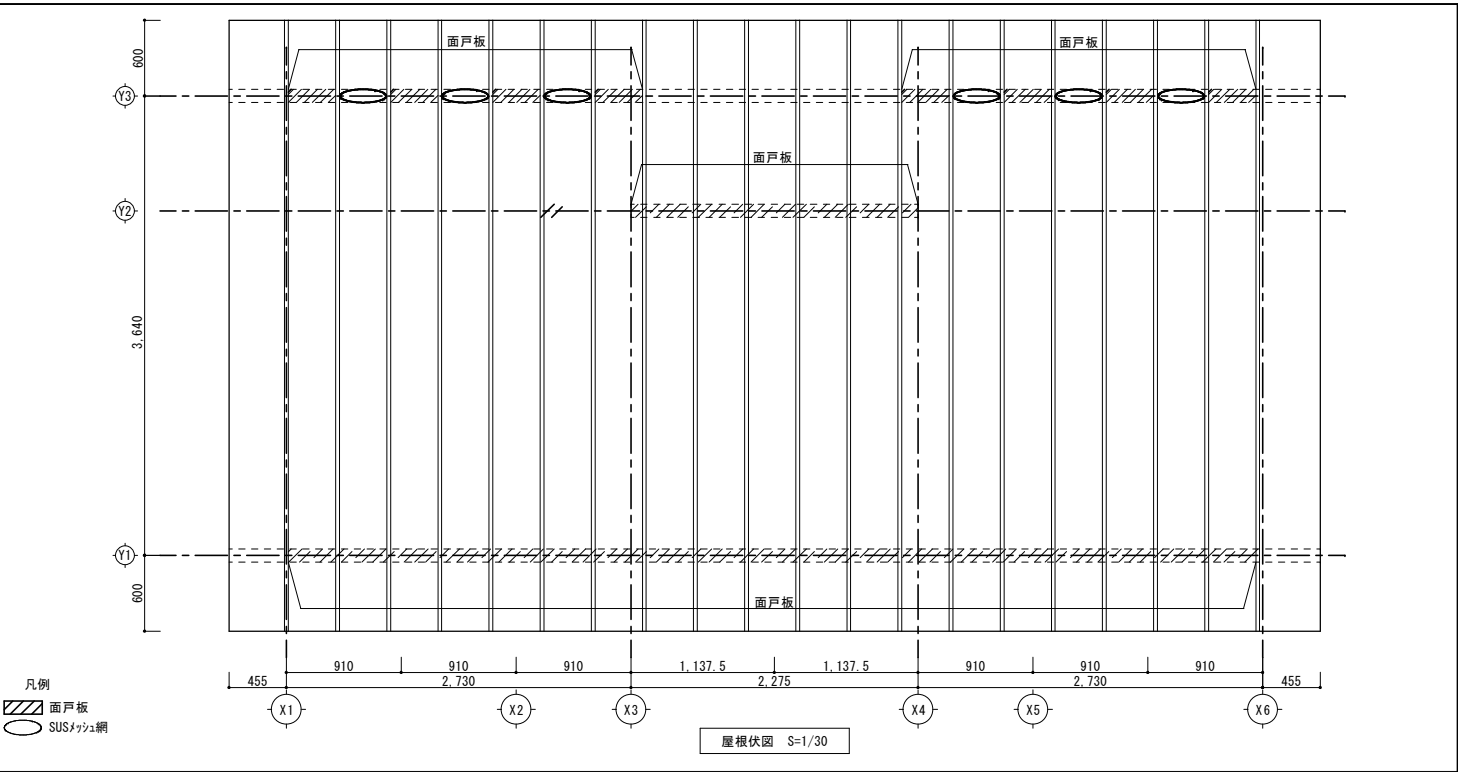
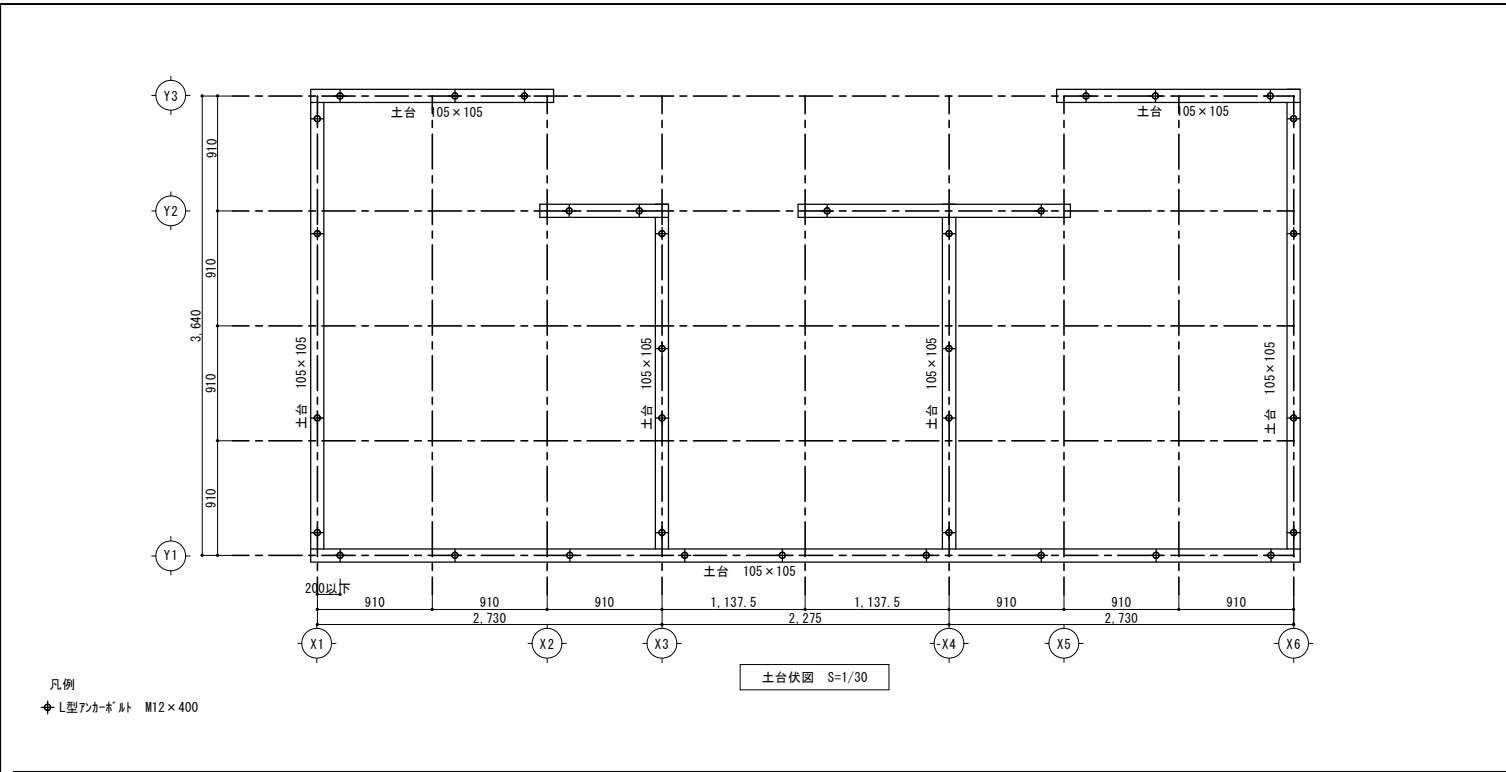
耐力壁の倍率

耐力壁の種類	倍率
・ 筋交い等のない壁	1.0
○ 筋交い30×90 (片筋交い)	1.5
・ 筋交い30×90 (たすき掛け)	3.0
・ 筋交い45×90 (片筋交い)	2.0
・ 筋交い45×90 (たすき掛け)	4.0
・ 面材耐力壁 (片面)	2.5
・ 面材耐力壁 (両面)	5.0

耐力壁のバランス確認

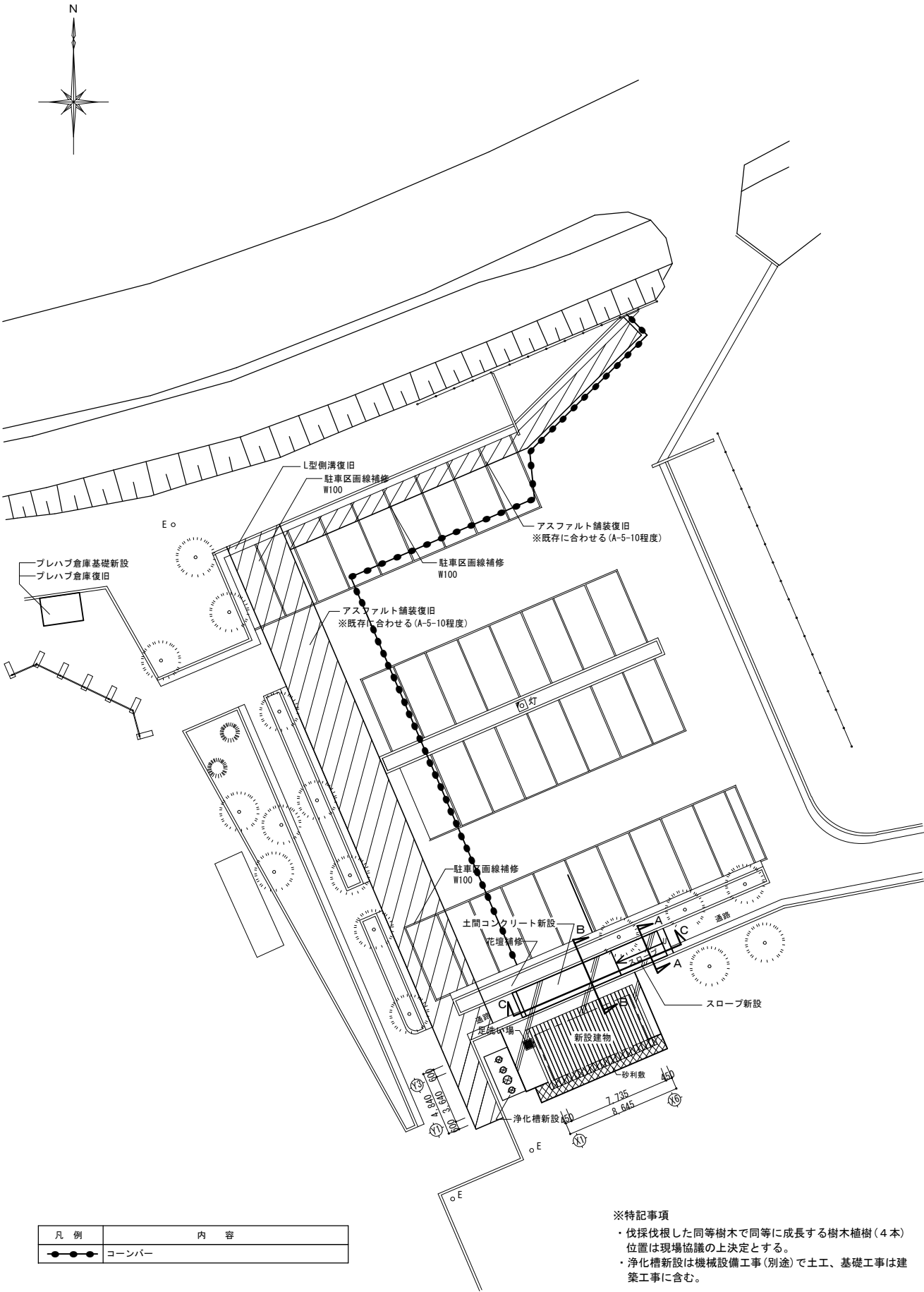
必要壁量計算	方向	存在壁量 (cm)	必要壁量 (cm)	壁量充足率		壁率比および判定	
		壁長 (cm) × 壁倍率 = 有効壁長	床面積 (㎡) × 壁係数 = 必要壁量	存在壁量 / 必要壁量	判定	壁量充足率 / 壁量充足率	判定
	Y梁間方向 (東)	182 × 1.5 = 273	7,030 × 11 = 77,330	273 / 77,330 = 3.53 > 1.0	OKorNG	3.53 / 3.53 = 1.0	OKorNG
	Y梁間方向 (西)	182 × 1.5 = 273	7,030 × 11 = 77,330	273 / 77,330 = 3.53 > 1.0	OKorNG	1.0 > 0.5	OKorNG
	X桁行方向 (南)	182 × 1.5 = 273	7,030 × 11 = 77,330	273 / 77,330 = 3.53 > 1.0	OKorNG	3.53 / 3.53 = 1.0	OKorNG
	X桁行方向 (北)	182 × 1.5 = 273	7,030 × 11 = 77,330	273 / 77,330 = 3.53 > 1.0	OKorNG	1.0 > 0.5	OKorNG

工事名	上道公園トイレ改築工事				N o.	株式会社 綜合設計 岡山市知事登録第1910号 1級建築士登録第92328号 井上 元		
図面名	必要壁量算定図				A-14	〒701-0145 岡山市北区今保185-8 TEL: 086-241-9082 FAX 086-241-9493		
	課長	課長補佐	係長	係員	担当者	承認	検図	製図



工事名 上道公園トイレ改築工事					No. 株式会社 総合設計 岡山県知事登録第1910号	
図面名 各伏図・部分詳細図					A-15 1級建築士登録第92328号 井上 元	
岡山市 都市整備局 住宅・建築部 公共建築課					〒701-0145 岡山市北区今保185-8	
令和7年5月					TEL: 086-241-9082 FAX 086-241-9493	
課長	課長補佐	係長	課員	担当	承認	製図

部分配置図 (改修後)



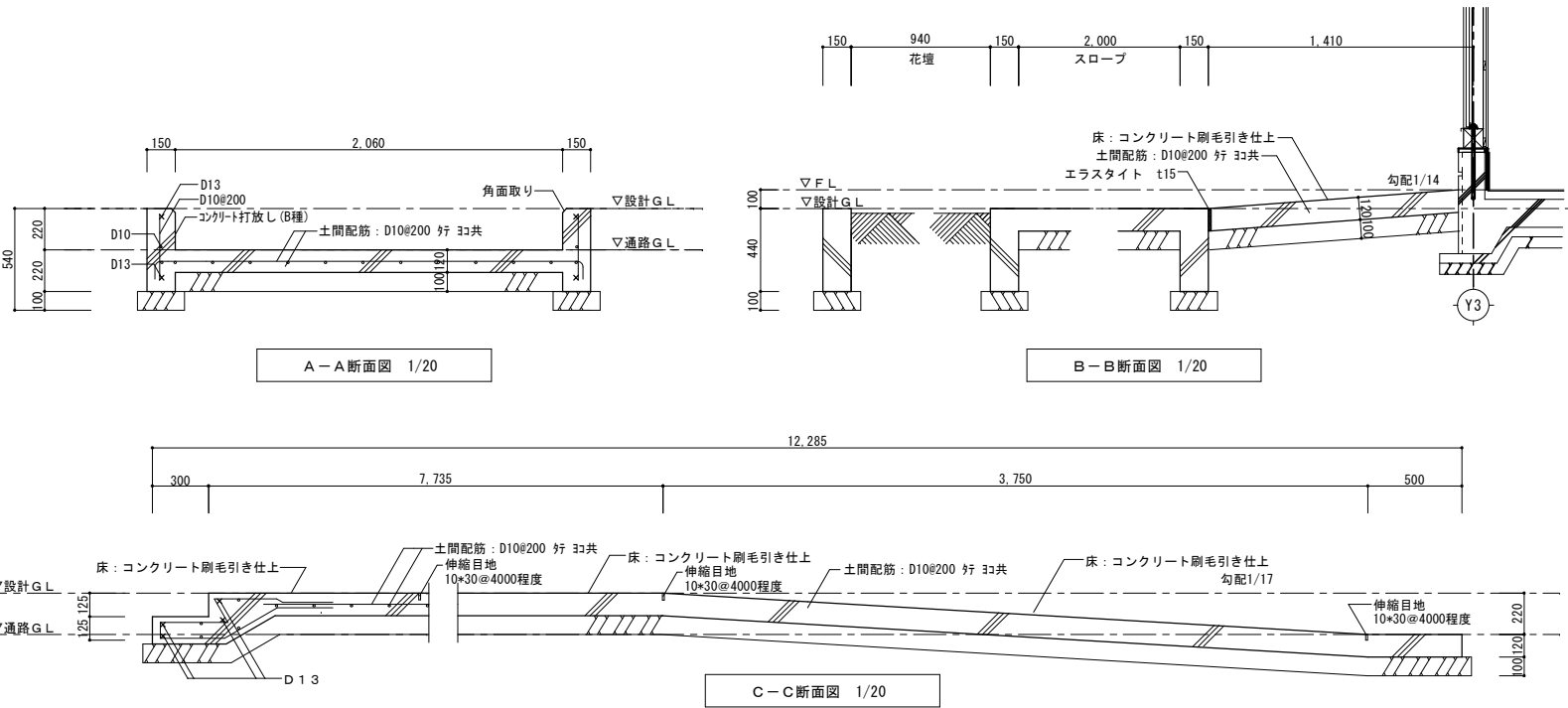
凡 例	内 容
●●●	コーンバー

- ※特記事項
- ・伐採伐根した同等樹木で同等に成長する樹木植樹(4本)位置は現場協議の上決定とする。
 - ・浄化槽新設は機械設備工事(別途)で土工、基礎工事は建築工事に含む。

部分配置図 1/200

外構詳細図

1/20



足洗い場詳細図

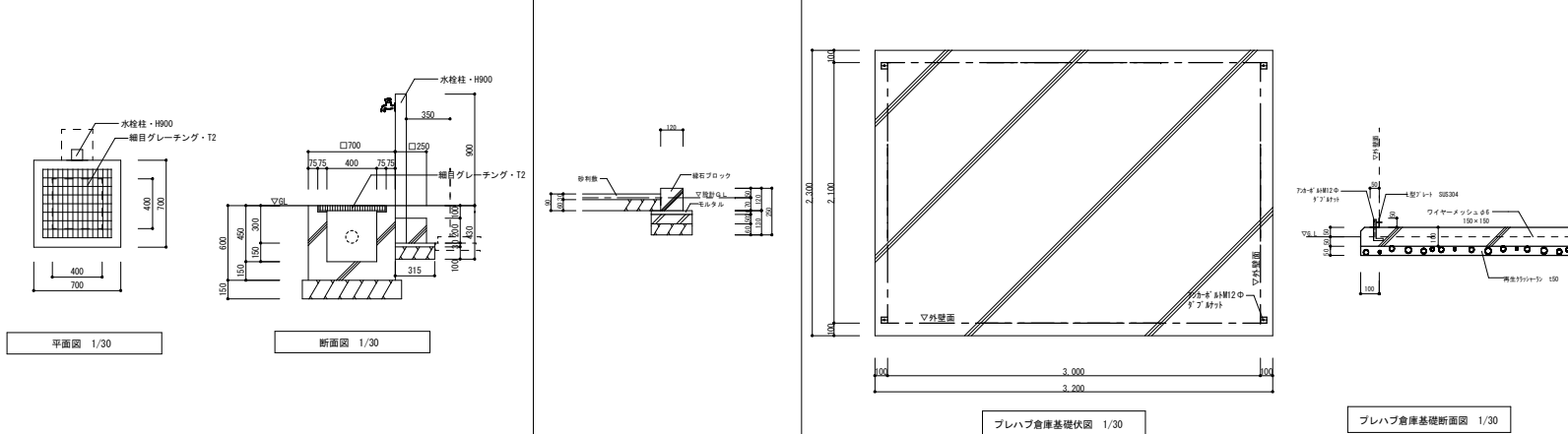
1/30

緑石ブロック詳細図

1/20

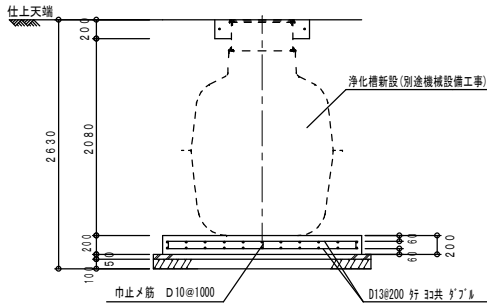
復旧プレハブ倉庫基礎図

1/30

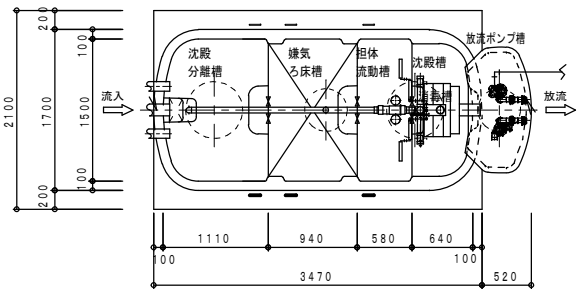


浄化槽基礎図

1/40



断面配筋図 1:40



内部平面図 1:40

工事名	上道公園トイレ改築工事				N o.	株式会社 綜 合 設 計 岡山県知事登録第1910号 1級建築士登録第92328号 井上 元 〒701-0145 岡山市北区今保185-6 TEL : 086-241-9082 FAX 086-241-9493		
図面名	外構改修図				A-17	承認	概図	製図
岡山市 都市整備局 住宅・建築部 公共建築課				令和7年5月				
課長	課長補佐	係長	課員	担当				

木造在来軸組工法標準納まり図						
§ 1 一般事項						
<div>(1) 構造図面に記載された事項は、本標準図に優先して適用する。</div> <div>(2) 施工の際は本標準図の他、「木造住宅工事共通仕様書(解説付)」((財)住宅金融普及協会) 「木造軸組工法住宅 接合部の設計と金物の取付」((社)日本木造住宅産業協会)等参照のこと。</div> <div>(3) 床組 下記●印で選択した床組を適用する<div>剛な床組</div><div>柔な床組</div></div>						
§ 2 金物						
<div>(1) 使用する金物は、(財)日本住宅・木造技術センターの定める規格によるZマーク表示品または、これと同等以上のものを使用する。</div> <div>(2) 接合及び補強をするに当たっては、接合部位の納まりに適した金物を使用すること。</div> <div>(3) 接合金物の許容耐力一覧表</div>						
名 称		記 号		短期許容耐力(kN)		使用接合具等
				べいまつ類	べいつが類	
太めくぎ		Z N 40	0.86	0.77	0.68	
		Z N 65				
		Z N 90				
スクリューくぎ		Z S 50	1.48	1.34	1.17	
柱脚金物		P B-33	11.38	10.40	10.00	六角ボルト M12(1本)
		P B-42	22.76	20.80	20.00	六角ボルト M12(2本)
ひら金物		S M-12	1.72	1.54	1.36	太めくぎ ZN65(4本)
		S M-40	4.30	3.85	3.40	太めくぎ ZN65(12本)
ひねり金物		S T-9	1.72	1.54	1.36	太めくぎ ZN40(4本)
		S T-12				
		S T-15				
折曲げ金物		S F	2.58	2.31	2.04	太めくぎ ZN40(6本)
くら金物		S S				
羽子板ボルト		S B・F、S B・F2	5.69	5.20	5.00	六角ボルト M12(1本)
		S B・E、S B・E2				
かど金物		C P・L	4.30	3.85	3.40	太めくぎ ZN65(10本)
		C P・T				
山形プレート		V P	5.04	4.56	3.92	太めくぎ ZN90(8本)
短ざく金物		S	5.69	5.20	5.00	六角ボルト M12(2本)
かね折り金物		S A				
かすがい		C-120	1.27	1.18	1.08	
		C-150				
手違いかすがい		C C-120				
		C C-150				
引き寄せ金物		H D-B10	11.38	10.40	10.00	六角ボルト M12(2本)
		S-HD10				又はサ'スクリュー-LS12(2本)
		H D-B15	17.07	15.60	15.00	六角ボルト M12(3本)
		S-HD15				又はサ'スクリュー-LS12(3本)
		H D-B20	22.76	20.80	20.00	六角ボルト M12(4本)
		S-HD20				又はサ'スクリュー-LS12(4本)
		H D-B25	28.45	26.00	25.00	六角ボルト M12(5本)
		S-HD25				又はサ'スクリュー-LS12(5本)
		H D-N5	7.56	6.84	5.88	太めくぎ ZN90(6本)
		H D-N10	12.60	11.40	9.80	太めくぎ ZN90(10本)
		H D-N15	20.16	18.24	15.68	太めくぎ ZN90(16本)
		H D-N20	22.68	20.52	17.64	太めくぎ ZN90(20本)
		H D-N25	29.48	26.68	22.93	太めくぎ ZN90(26本)

※ 表値は鋼板添え板による25%割増の値を示す。長期許容せん断耐力の値は表値の1/2とする。

※ べいまつ類：べいまつ・くろまつ・あかまつ・からまつ・つが

べいつが類：べいひ・べいつが・ひば・ひのき・もみ

す ぎ類：とどまつ・えぞまつ・べにまつ・スプルス・すぎ・べいすぎ

※ ラグスクリュー-LS12は首下長11cm以上とし、柱寸法10.5cm角以上の部材に適用される。

※ 算出根拠は、日本建築学会発行の「木質構造設計基準・同解説」による。

(4) アンカーボルト 下記●印で選択したアンカーボルトを適用する						
アンカーボルト	M12	L= ● 400 ● 450 ● 500				一般部
M16	L= ● 600 ● 700 ● 800 ● 900 ● 1000				通し柱出隅部	
注：この図面は、一例を示したものであり、各現場の状況に合わせて変更して使用すること						

§ 3 各部構造の施工上の留意点	
1 基礎と土台の緊結	
(1) アンカーボルトの配置 (a) 筋違いを設けた耐力壁の部分は両端柱の外側下部に近い位置を原則とする ① ホールダウン金物をアンカーボルト(A-70)で緊結する場合	
② ホールダウン金物を座金付きボルト(M16W)で土台と緊結する場合	
③ 山形プレートで土台と緊結する場合、または金物の無い場合	
(b) 構造用合板を張った耐力壁の場合は(c)に準ずる (c) 隅各部、土台継手及び土台仕口箇所の端部	
(d) 上記(a)、(b)及び(c)以外の部分においては間隔 2m以内 になるような位置とする	

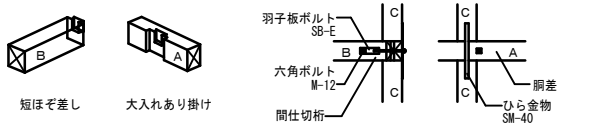
(2) アンカーボルトの施工 (a) アンカーボルトの芯出しは、型板を用いて基準墨に正確に合わせる。 (b) アンカーボルトのコンクリート基礎への埋込み長さはA-60、A-70については360mm以上、A-40については250mm以上とする。 なお、アンカーボルトの先端は土台の上端よりナットの外にねじが3山以上出るように固定する。 (c) アンカーボルトは、所定の位置に垂直に敷設せれるよう位置出し材を布基礎型枠材に釘打ちし、アンカーボルトを固定してからコンクリートを打設すること。 (d) アンカーボルトは、衝撃などにより曲がりが生じないよう、慎重に取り扱う。 また、ねじ部分には、損傷・錆の発生・汚れ等を防止するために布、ビニールテープなどを巻いて養生を行う。	
(3) アンカーボルトの定着のチェック法 埋め込み位置のマークを確認する。 (埋込マークの中心ポイント)	
2 柱と基礎(土台)との緊結	
(a) 柱は、構造計算による引き抜き応力に耐えられるように接合金物(ホールダウン金物)により基礎または土台と緊結する。ホールダウン金物は、柱の下部に締め代を30mm程度とし六角ボルト(M16)、ラグスクリュー(L S12)または太めくぎ(Z N90)にて柱に固定する。	
(b) 緊結方法は次による ① ホールダウン用アンカーボルトを用いて直接基礎に緊結する場合	
② 座金付きボルト(M16W)を用いて土台と柱を緊結する場合	
3 筋違いの仕口	
筋違いの仕口は筋違いプレート(B P、B P-2)によって緊結する	

4 通し柱	
(a) 通し柱は、次のいずれかによる ① 1階から3階に達する通し柱とする。 ② 1階から2階までの通し柱と、2階から3階までの通し柱を組み合わせで使用する場合、当該通し柱と管柱とは接合金物で緊結する。 (b) 通し柱に代わる管柱の補強 外周部の主要な隅柱及び構造計算による引抜き応力が大きい2階の柱は、1階の管柱と接合金物(ホールダウン金物)で緊結する。ホールダウン金物の取付けは、次による。 ① 上階の柱及び下階の柱にホールダウン金物の取付けは、次による。 ② ホールダウン金物は相互に六角ボルト(M12またはM16)を用い緊結する。	
(c) 上記(b)以外の構造計算による引抜き応力が小さい2階柱の接合金物は、短ざく金物(S)ひら金物(S M-40)等のZマーク表示品、または、これらと同等以上のものとする。	
(1) 隅柱	
(a) 出隅 ① 直交する隅差がほぼ同寸であり、かつ同一高さで取合う場合 一方の隅差(B)を他方の隅差(A)に大入れ片あり掛け、隅差相互を建物の内側に添えた羽子板ボルト(S B-E)で引寄せ、上下管柱は隅差(A)に短ざく金物(S)と、管柱出隅面面にひら金物(S M-40)を当て、各々太めくぎ(Z N65)で打ち固める。	
② 直交する隅差の寸法が異なり段違いに取合う場合 一方の隅差(A)を他方の隅差(B)に大入れ(かぶと)ありに仕掛け、隅差(A)の下部に添寄せた羽子板ボルト(S B-F)で隅差(B)を引寄せ、さらに、隅差(B)の内側に添寄せた羽子板ボルト(S B-E)で隅差(A)を引寄せる。 上下管柱はいずれもそれぞれ隅差(A、B)に隅差を差し、管柱出隅面面にひら金物(S M-40)を当て各々太めくぎ(Z N65)で打ち固める。	
① ②共に、状況に応じて、かね折り金物(S A)を隅差に対して取り付けること。 (b) 入り隅 入り隅は出隅の場合に準ずる。ただし、準ずることが困難な場合には通し柱とする。	

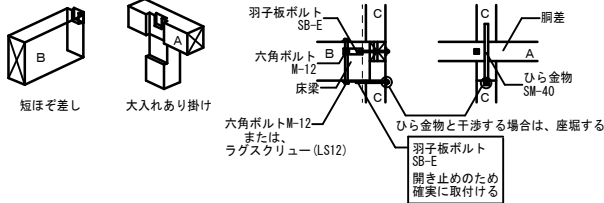
工事名	上道公園トイレ改築工事				N o.	株式会社 綜合設計 岡山県知事登録第1910号
図面名	木造在来軸組工法標準納まり図 1				A-18	1級建築士登録第92328号 井上 元 〒701-0145 岡山市北区今保185-8 TEL: 086-241-9082 FAX 086-241-9493
図面	課長	課長補佐	係長	課員	担当者	承認
						検印
						製図

(2) 「隅柱に準ずる柱」の通し柱と同等以上の耐力を有するような補強方法

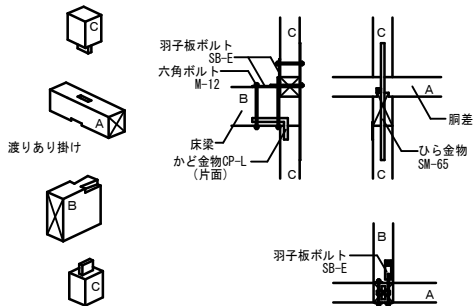
① 直交する胴差がほぼ同寸であり、かつ、同一高さで取合う場合
間仕切桁(B)は胴差(A)に大入れあり掛け、胴差(A)を間仕切桁(B)より羽子板
ボルト(SB-E)で引寄せ。
上下管柱は胴差(A)へ短ぼぞ差しとし、上下管柱外側にひら金物(SM-40)を当て、
各々太めくぎ(Z N65)で打ち固める。



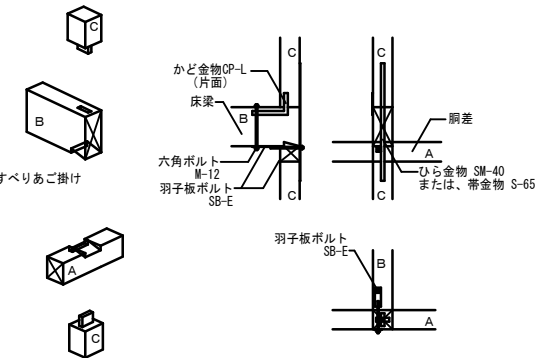
② 胴差と直交する梁があり、上端が揃う場合
床梁(B)は胴差(A)に大入れあり掛け、下階柱には大入れ、胴差(B)を床梁(A)及び管柱(C)
より羽子板ボルト(SB-E)で引き寄せ。
上下管柱は胴差(A)へ短ぼぞ差しとし、上下管柱外側にひら金物(SM-40)を当て、各々太め
くぎ(Z N65)で打ち固める。



③ 胴差と直交する床梁が胴差の下側にある場合
床梁(B)は下階管柱の長ぼぞに差し込み、かど金物(CP-L)を片面に当て、太めくぎ(Z N65)で
打ち、胴差(A)は床梁(B)に渡りあり掛け、床梁(B)を羽子板ボルト(SB-E)で引き寄せる。
上階柱は胴差(A)に短ぼぞ差し、上下管柱相互は外側にひら金物(SM-40) (長さが足りない場合
は、帯金物(S-65)を代用する)を当て、各々太めくぎ(Z N65)で打ち固める。
床梁(B)と下階柱とは、かど金物(CP-L)を片面に当て、太めくぎ(Z N65)で打ち固める。



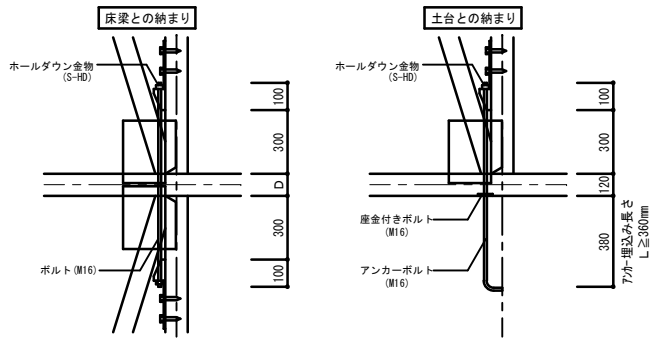
④ 胴差と直交する床梁が胴差の上側にある場合
下階管柱の短ぼぞに胴差(A)を差し込み、床梁(B)は胴差(A)にすべりあご掛けとし、胴差
より羽子板ボルト(SB-E)で引き寄せる。
上階管柱は床梁(B)へ短ぼぞ差しとし、上下管柱相互は外側にひら金物(SM-40) (長さが足りない
場合は、帯金物(S-65)を代用する)を当て、各々太めくぎ(Z N65)で打ち固める。
上階管柱と床梁(B)とは、かど金物(CP-L)を片面に当て、太めくぎ(Z N65)で打ち固める。



5 ホールダウン金物周辺の納まり

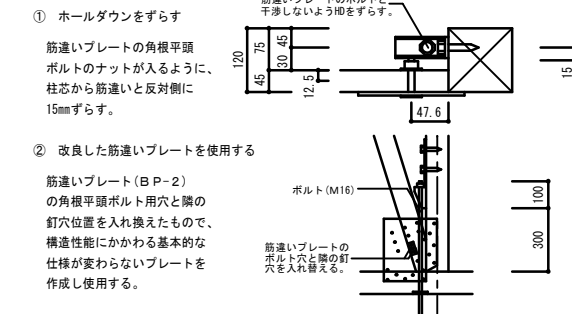
(1) 筋違いとホールダウン金物の納まり
筋違いとホールダウン金物は極力重ならないように位置を決定する。
重なりが出てきた場合には、以下の方法を参考に納まりを決定する。

(a) ホールダウン金物自体と筋違いの重なり
ホールダウン金物と横架材間の締め代を長く取り、筋違いと重ならないようにする。
その場合、座金付きボルト(土台)やアンカーボルト(基礎)、ボルト(床梁等)
が標準の場合より長くなることに注意する。

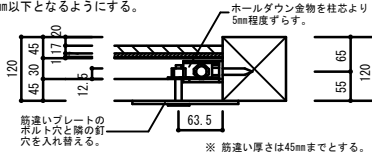


・梁成によるボルトの長さ(mm)		・ボルトの長さ(mm)	
筋違いが上下の一方にある時	筋違いが上下にある時	座金付きボルト	アンカーボルト
D+430	D+800	520	900

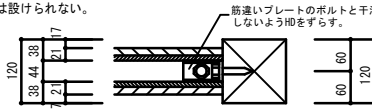
(b) ホールダウン金物の引寄せボルトと筋違いプレートの角根平頭ボルトのナット部分との重なり
120mmX120mmの柱に対して 45mmX105mmの筋違いが取り付け場合ホールダウン金物の
引寄せボルトと筋違いプレートの角根平頭ボルトのナット部分との重なりを防ぐため以下の
ように納める。ただし、120mm 角未満の場合は施工できないことに注意する。



(c) 折衷壁(壁の片側が真壁)におけるホールダウン金物の納まり
折衷壁(壁の片側が真壁)の場合、柱芯から筋違い側に5mmずらし、かつ上記
(b)~②のように改良した筋違いプレートを使用する。
ただし、筋違い厚さは45mm以下となるようにする。

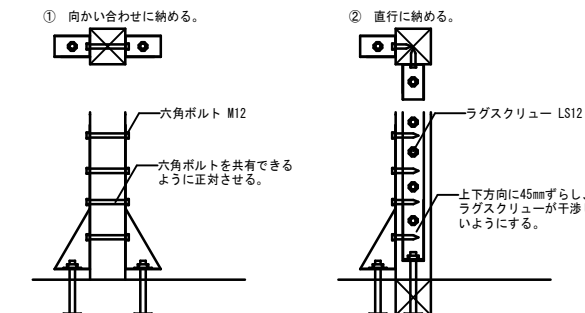


(2) 両側真壁の場合のホールダウン金物の納まり
両側真壁の場合、ホールダウン金物をS-HDとし、また柱のちりを16mm程度にする。
ただし、この場合筋違いは設けられない。



(3) 2本のホールダウン金物の納まり

① 向かい合わせに設ける場合、六角ボルトを共有できるようにする。
② 直行する場合、ホールダウンの取り付け位置を上下に45mmずらし六角ボルトが重ならないように
する。この場合欠損が大きいのでラグスクリューを使用することが望ましい。

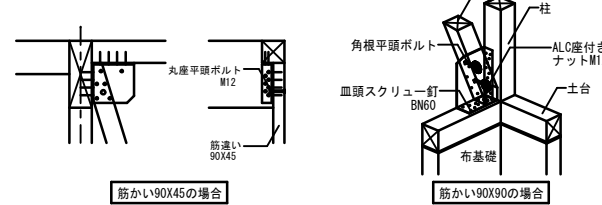


(4) ホールダウンの選定

ホールダウン	ホールダウンのとりつく壁の種類		
	大壁	折衷壁	両面真壁
HD-N	○	×	×
HD-B	○	×	×
S-HD	○	○	○

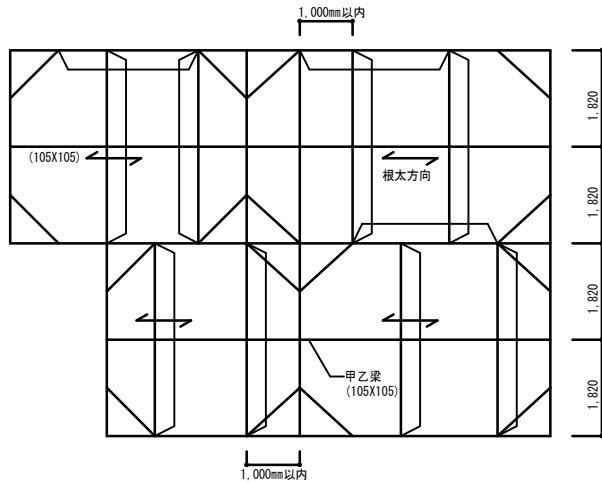
記号 ○ : 使用できる。
× : 納まらないため、使用できない。
※ 面材の受材・筋違いが干渉する場合はS-HDを使用する。

(5) 3階建て用筋違い金物



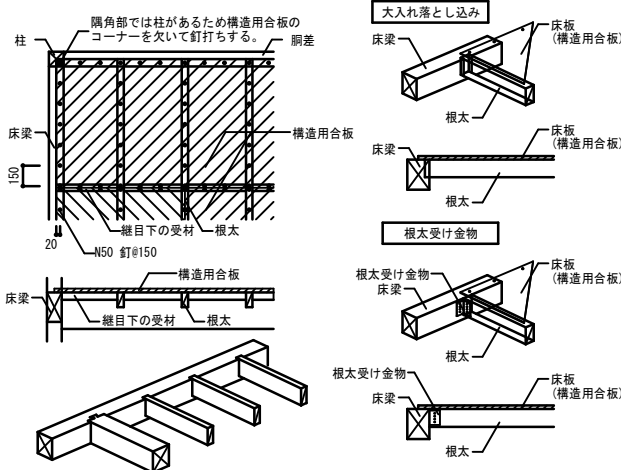
6 床組 2階(3階)床

耐力壁線の交点が不一致の場合は、その階の水平力伝達に有効な横架材を耐力壁線の上に設ける。
ただし、1メートル(約半間)を限度とする。

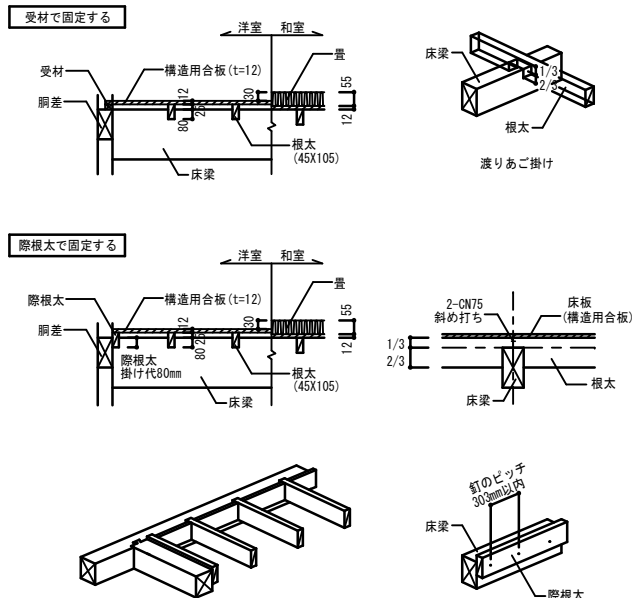


(1) 水平構面の剛性が十分期待できる床の施工(剛な床組)
① 種類 : サイズ3×6板以上、厚さ12mm以上の構造用合板を用いる。
② 張り方 : 構造用合板の長手方向を根太と直交させ、かつ千鳥張りとする。
構造用合板の継手は、根太上で付き付け継ぎとし、継目下に受材
(45mmX45mm程度)を設ける。
③ 釘打ち : 構造用合板の四周边は釘(N50)を150mm以下で根太または床梁・胴差、
受材等に平打ちする。
④ 床根太の寸法は45mmX105mmを標準とし、根太間隔は、455mm以下とする。
ただし、断面寸法105mmX105mm以上の甲乙梁を1,820mm内外(1間)の間隔
に梁間・桁行き方向に配置する。
⑤ 床梁・胴差の仕口補強
柱と床梁・胴差、床梁と胴差の仕口は、金物、ボルトにより十分緊結補強する。

(a) 根太と床梁、胴差の上端高さが同じ場合の施工方法
根太は床梁・胴差に大入れ落とし込みとし、釘(N75, 2本)で斜め打ちとするか、
または、根太受け金物を用いて床梁・胴差に留め付ける。
この場合、構造用合板を床梁・胴差に釘で直張りする。
ただし、隅角部では柱があるため構造用合板のコーナーを欠いて釘打ちする。
なお、この場合、火打ち梁は省略できる。

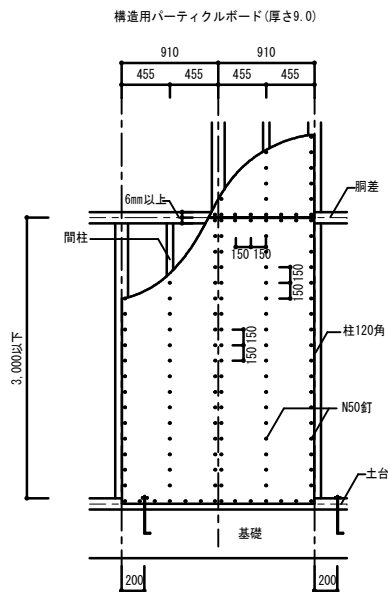


(b) 根太と床梁、胴差の上端高さが異なる場合の施工方法
床梁・胴差に直交する根太は渡りあご掛けとし、釘(N75, 2本)で斜め打ちとする。
また、床梁・胴差の際には際根太、または受材を添え付け床板構造用合板の四周边を固定する。
際根太は床梁・胴差へ釘打ち(N90) 間隔303mmで平打ちする。

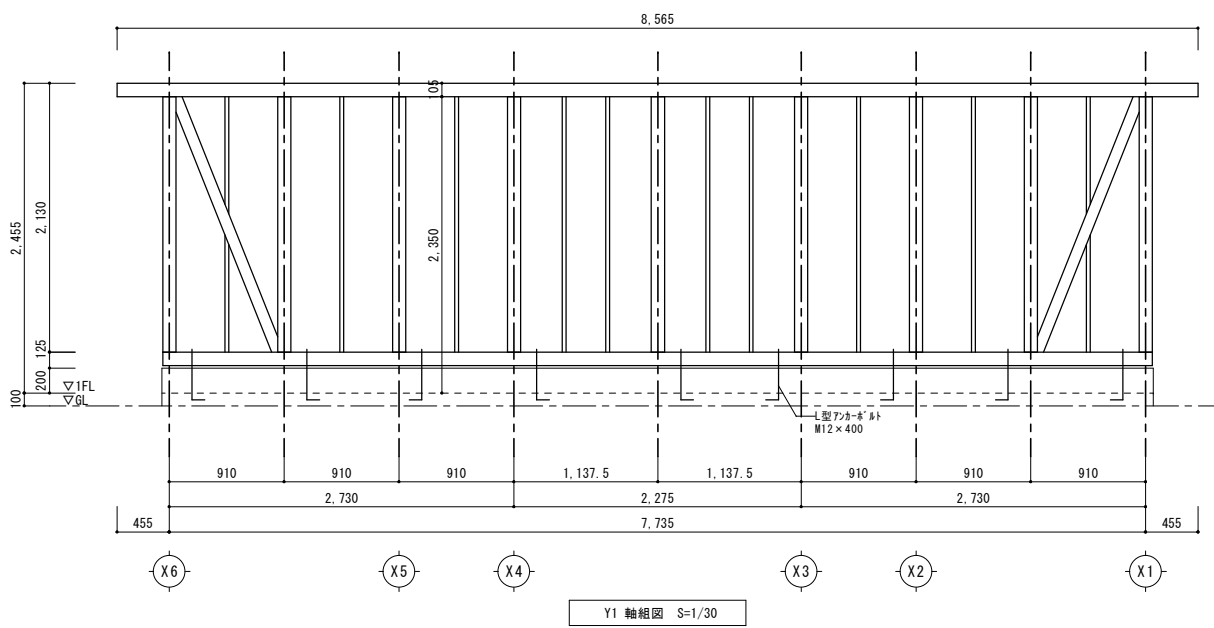
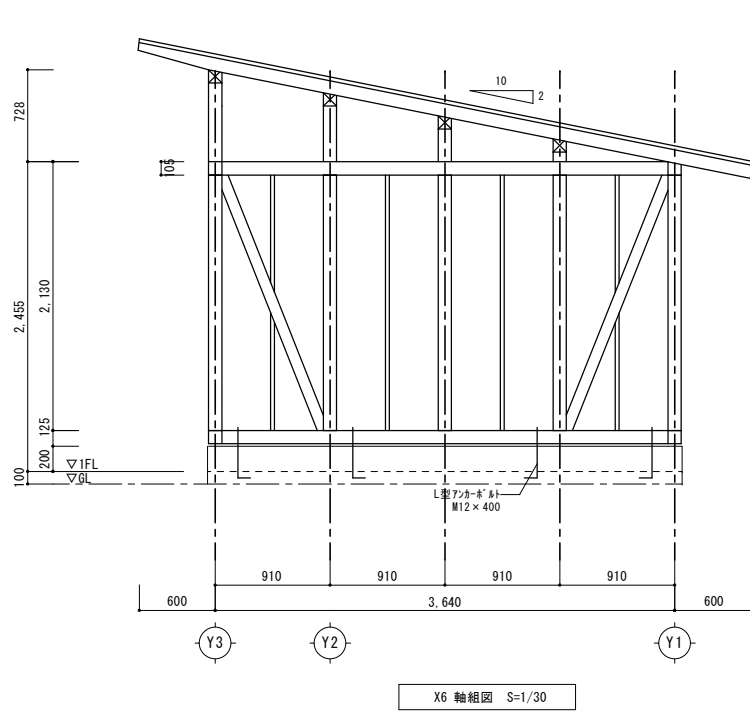
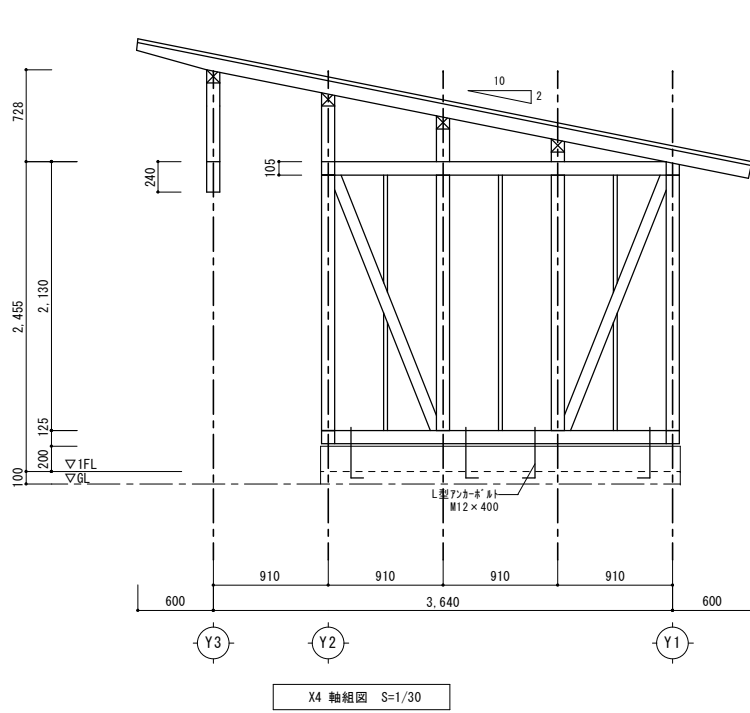
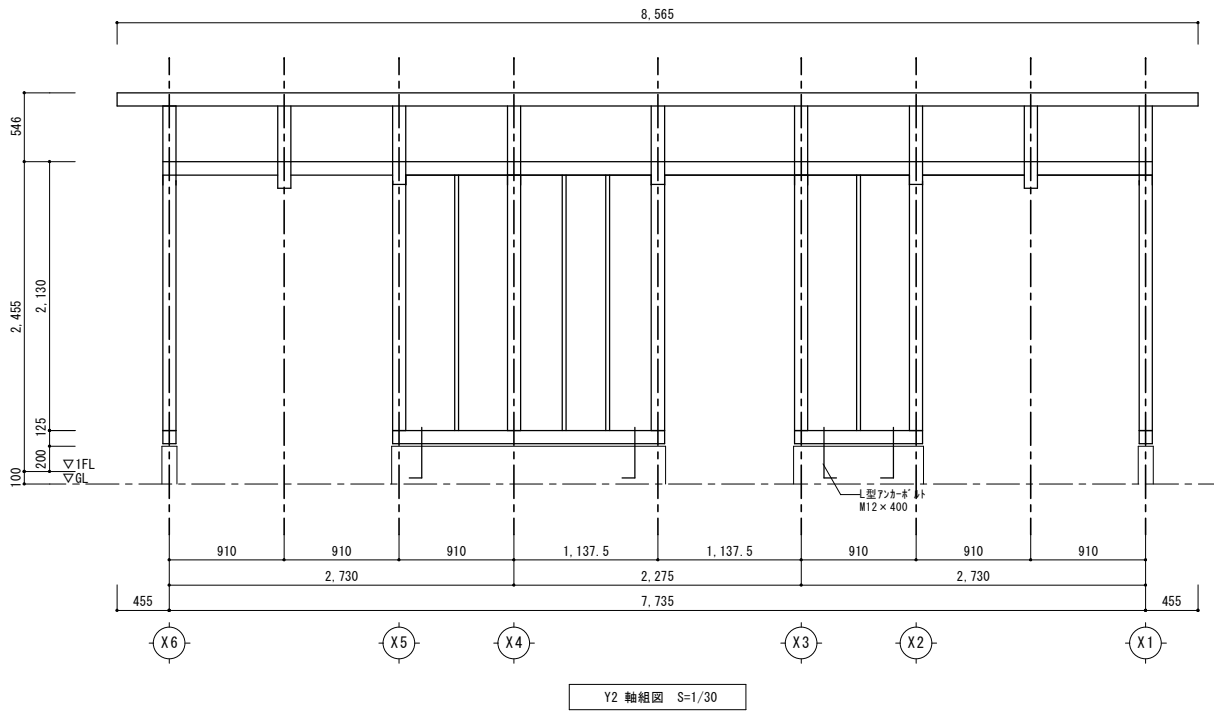
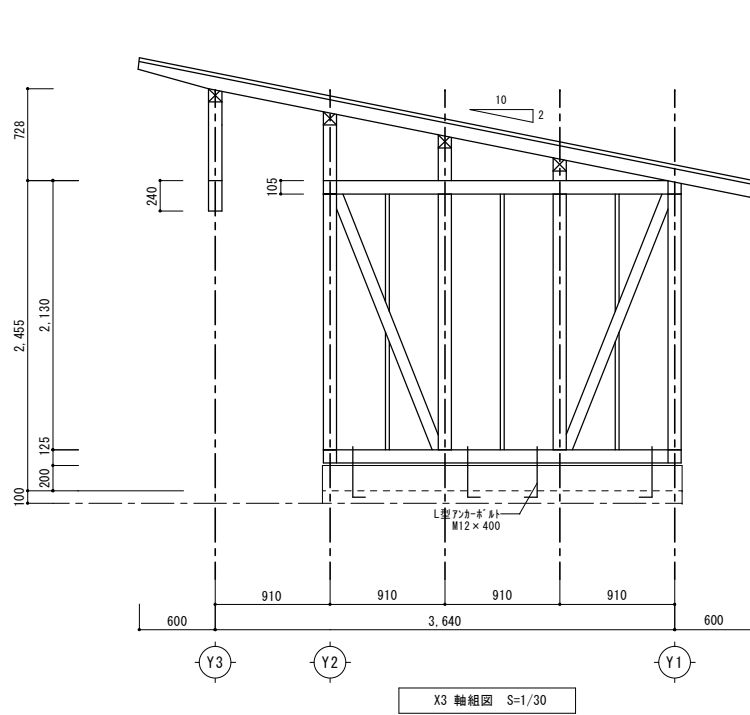
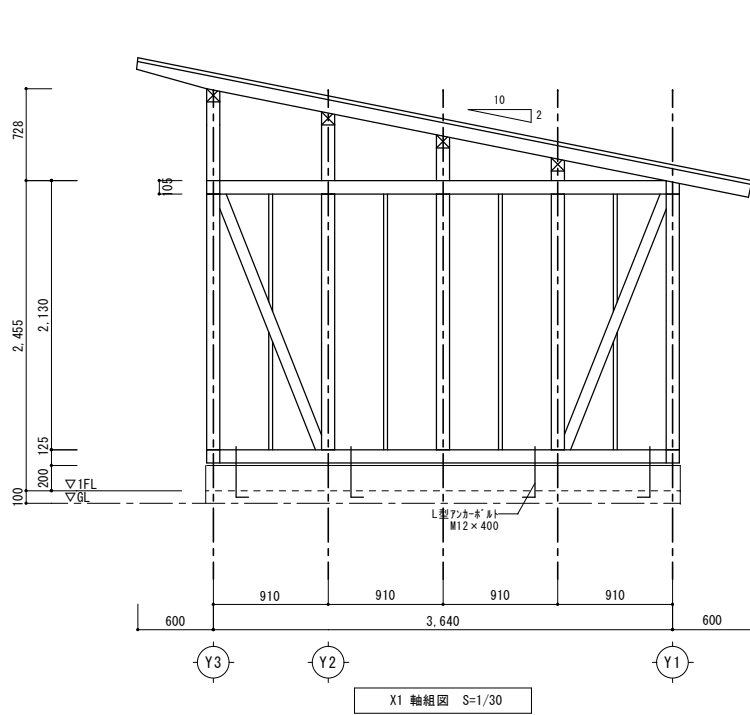
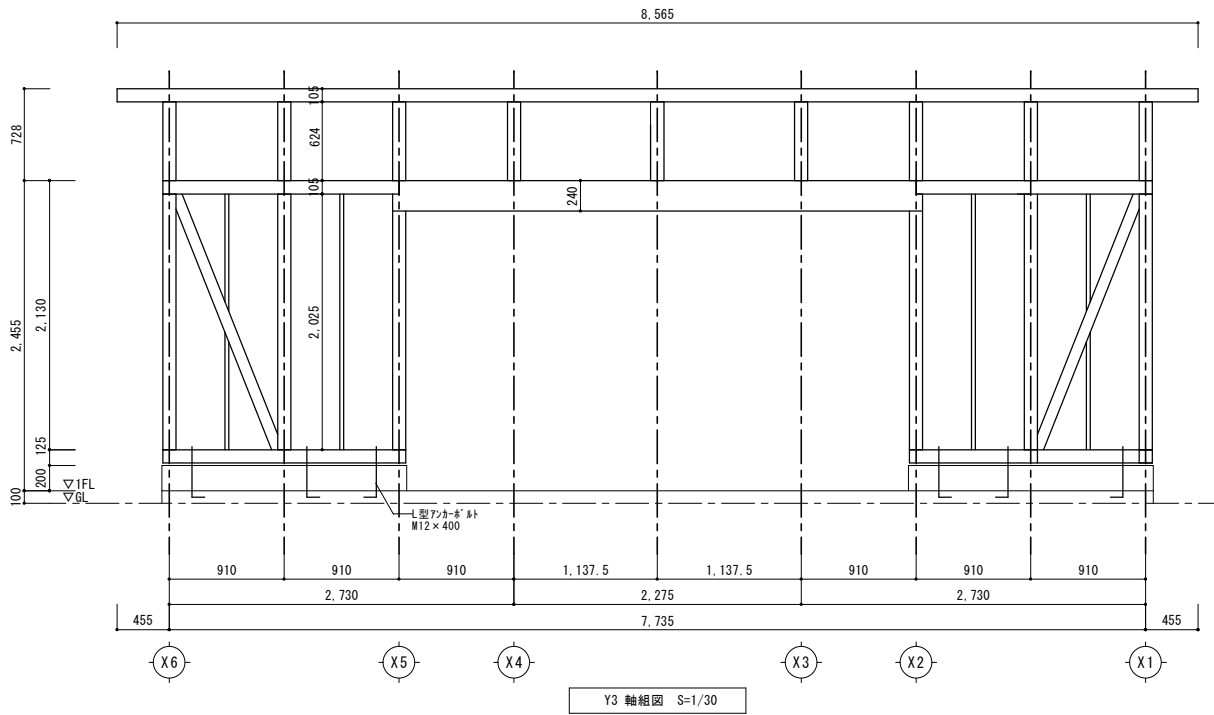


7 耐力壁(面材)施工例

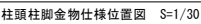
(1) 釘打ち基準



工事名	上道公園トイレ改築工事	N o.	株式会社 綜合設計 岡山県知事登録第1910号
図面名	木造在来軸組工法標準納まり図2	縮尺	1/9
岡山市 都市整備局 住宅・建築部 公共建築課	令和7年5月	承認	1級建築士登録第92328号 井上 元 〒701-0145 岡山市北区今保185-8 TEL : 086-241-9082 FAX 086-241-9493
課長	課長補佐	係長	課員
			担当者
			承認
			検閲
			製図



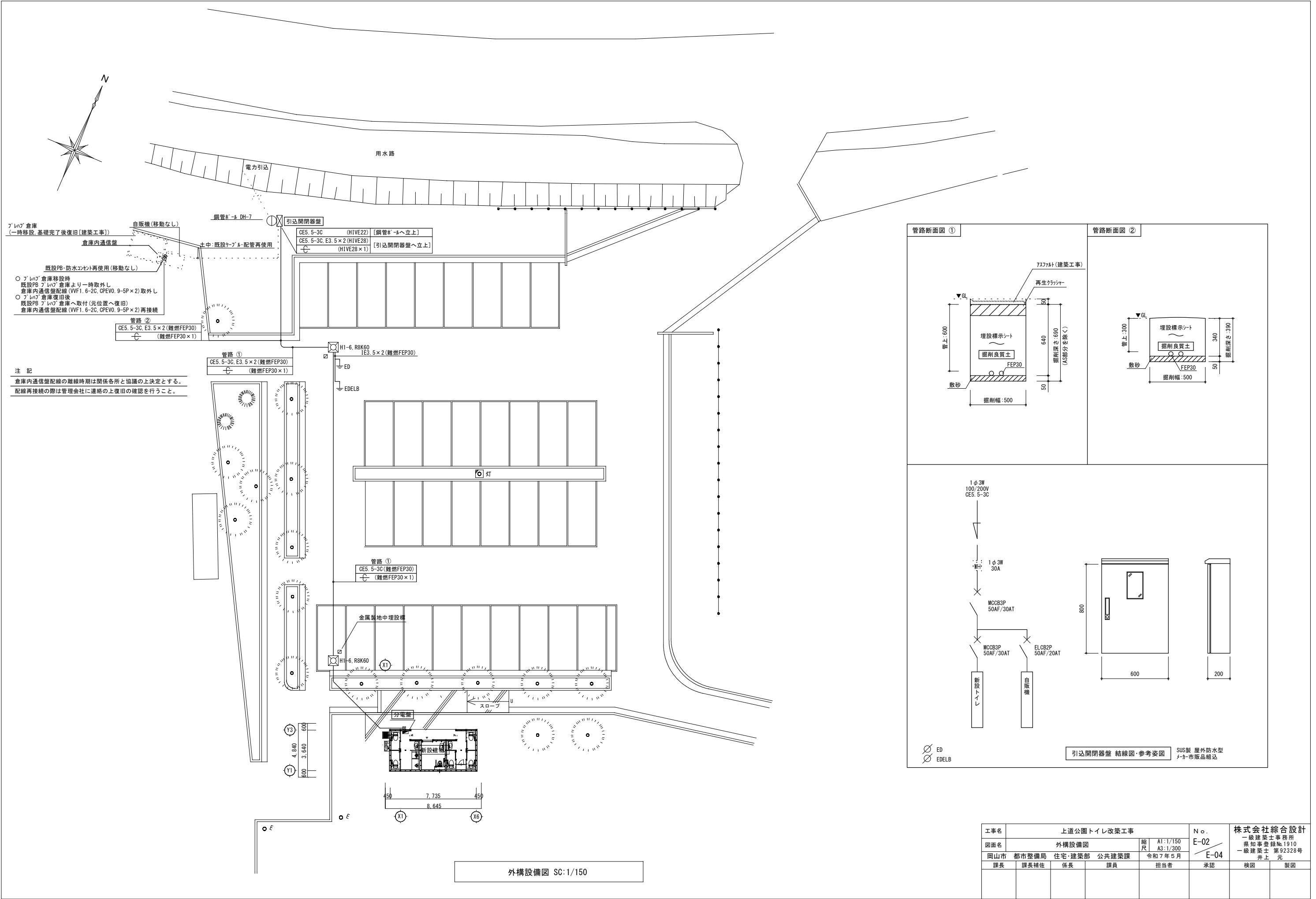
工事名		上道公園トイレ改築工事				No.		株式会社 綜合設計 岡山県知事登録第1910号	
図面名		軸組図				縮尺	A1:1/30 A3:1/60	A-21	
岡山市 都市整備局 住宅・建築部 公共建築課						令和7年5月			
課長		課長補佐		係長		課員		担当者	
								承認	
								検図	
								製図	



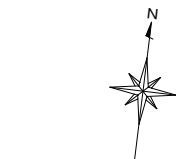
符号	仕 様	必要耐力 (kN)
(い)	短ほぞ差し 又は かすがい	0.0
(ろ)	かど金物	3.4
(は)	山形プレート	5.1
(に)	羽子板ボルト 又は 短冊金物	7.5
(ほ)～(ぬ)：(略)		

土台(ひのき)	: 105×105
柱(杉)	: 105×105
間柱(杉)	: 30×105
間柱(杉)	: 30×60
筋交(杉)	: 30×105
梁(米松)	: 105×105~210
桁(米松)	: 105×105~240
母屋(杉)	: 105×105
棟木(杉)	: 105×105
束(杉)	: 105×105
垂木(杉)	: 45×90
火打梁(杉)	: 90×90

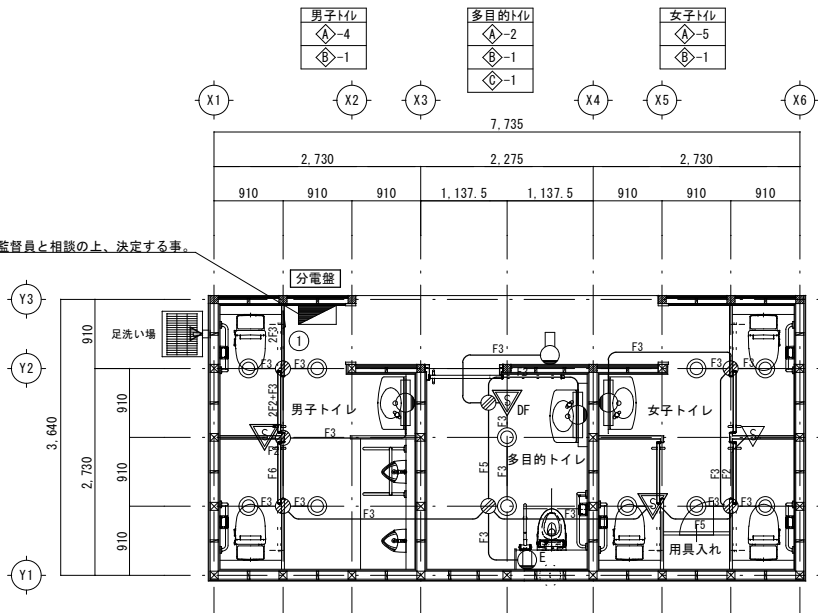
工事名					上道公園トイレ改築工事		No.	株式会社 総合設計 岡山県知事登録第1910号	
図面名					柱頭柱脚金物仕様図			A-2	1級建築士登録第92328号 井上 元 〒701-0145 岡山市北区今保185-8 TEL : 086-241-9082 FAX 086-241-9493
岡山市 都市整備局 住宅・建築部 公共建築課							令和7年6月		
		課長	課長補佐	係長	課員	担当者	承認	検図	製図



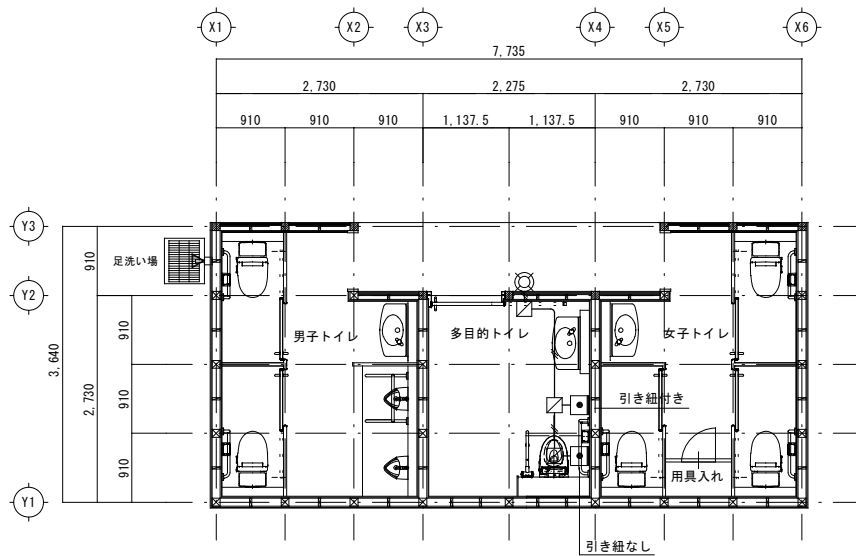
工事名	上道公園トイレ改築工事				N o .	株式会社総合設計	
図面名	外構設備図				E-02	一級建築士事務所 奥知事登録No.1910	
岡山市	都市整備局	住宅・建築部	公共建築課	令和7年5月	E-04	一級建築士 第92328号 井上 元	
課長	課長補佐	係長	課員	担当者	承認	検図	製図



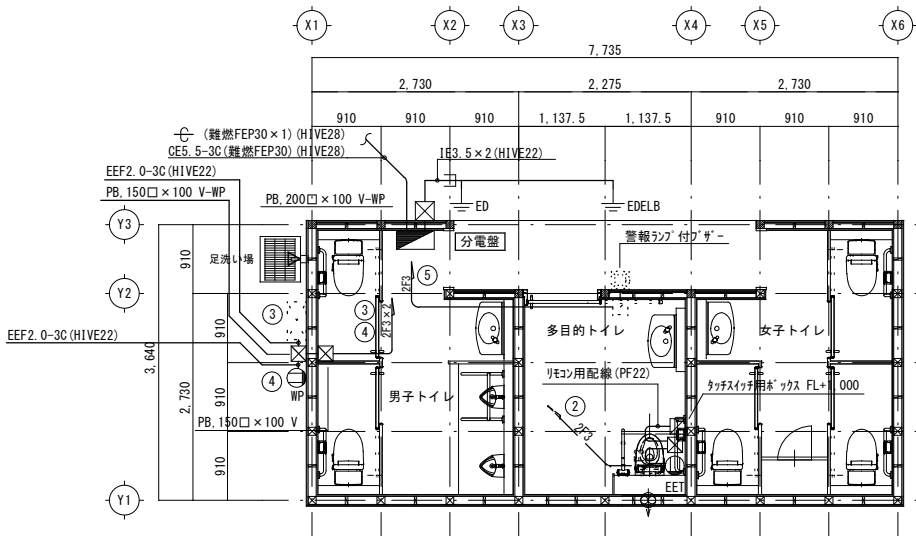
分電盤の取付高さについては、監督員と相談の上、決定する事。



1階平面図 電灯設備 1/50



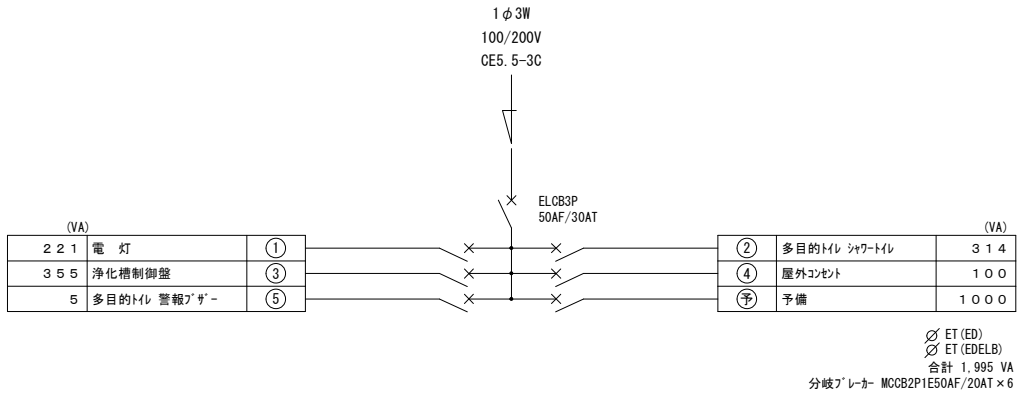
1階平面図 トイレ呼出設備 1/50



1階平面図 幹線・コンセント設備 1/50

分電盤 結線図

銅製 ホーム分電盤(扉付)改
参考型番:HMD3E53-60(日東工業)

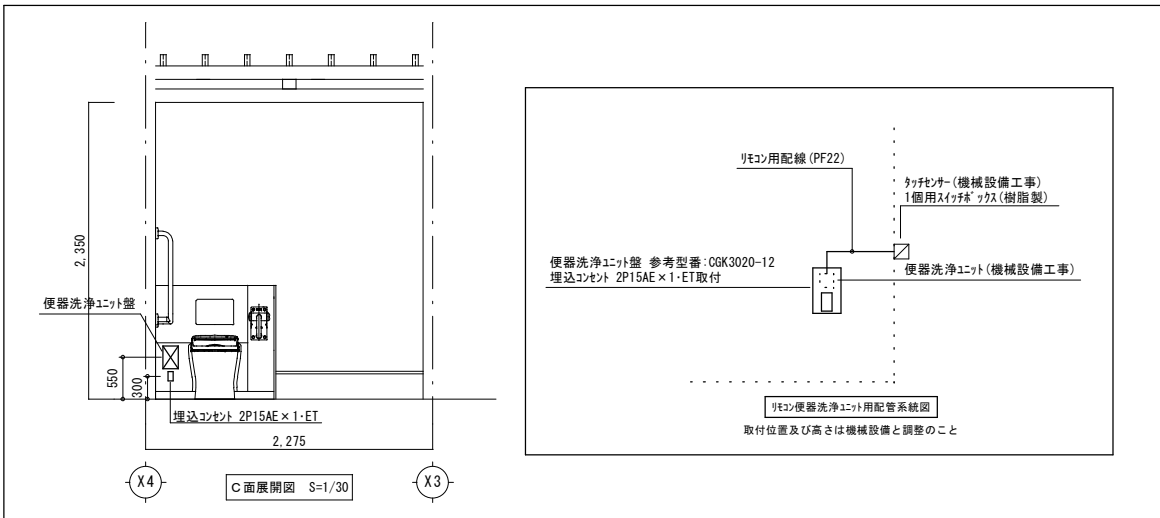


凡 例		図中明記なきは、下記による。
【共通】		(電線管保護)
— F2 —	EEF1. 6-2C	
— F3 —	EEF1. 6-3C	(PF22)
— F5 —	EEF1. 6-20+3C	
— F6 —	EEF1. 6-3C × 2	
— 2F2 —	EEF2. 0-2C	
— 2F3 —	EEF2. 0-3C	(PF22)
【電灯分岐設備】		
⊗	EEケーブルジョイント用ボックス	
▽	熱線式人感センサー 親機 参考型番:WTK2401K	
▽	露出取付カバー共	
▽	熱線式人感センサー 子機 参考型番:WTK2910K	
▽	露出取付カバー共	
▽DF	熱線式人感センサー 換気運動親機	
▽DF	参考型番:WTK2604 露出取付カバー共	
Ⓜ	E	埋込コンセント 2P15AE × 1
【コンセント分岐設備】		
Ⓜ	EET	埋込コンセント 2P15AE × 2・ET 新金P
Ⓜ	WP	防水コンセント 2P15AE × 2・ET・LK
【トイレ呼出設備】		
—	EM-AE1. 2-2C	(PF16)
⊗	樹脂製アトリートボックス 中四角 カバー付	
⊗	警報ブザー 参考型番:EA5501	
⊗	非常押釦 ON保持形 参考型番:WS6772	
室内配線露出部分はテープ保護とし、隠ぺい部分はPF管保護とする。		

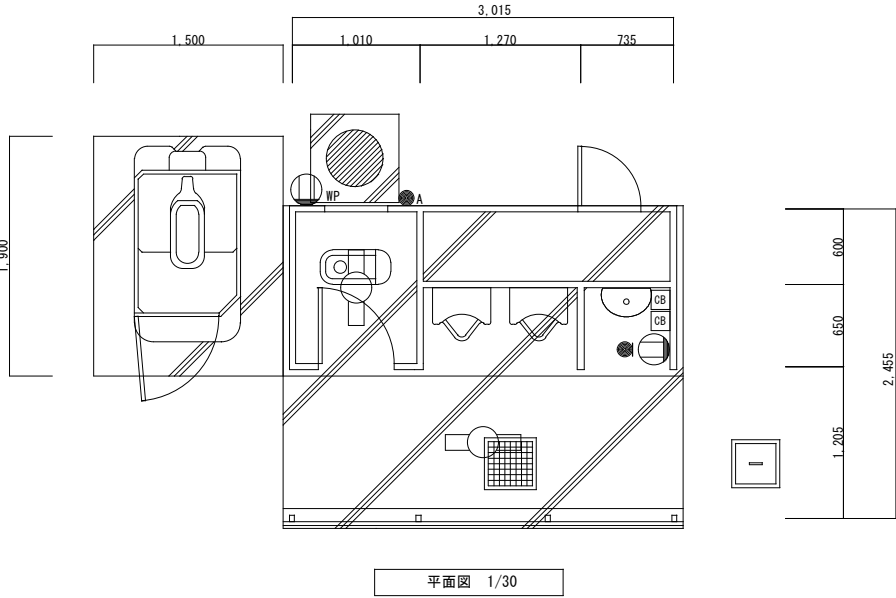
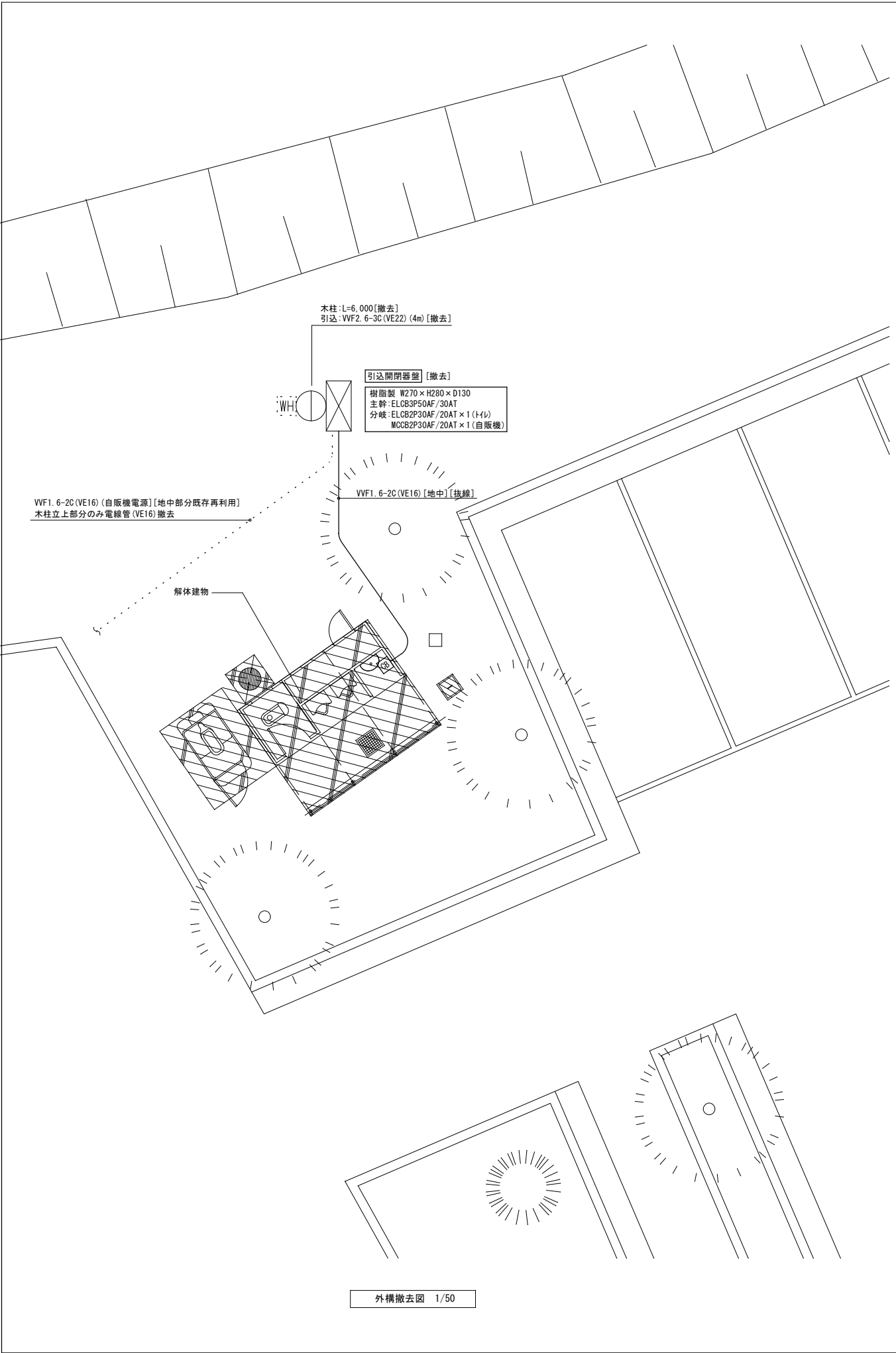
照明器具姿図

図は参考とする。

本体：アルミダイカスト（ホワイトつや消し仕上） ランプ：NNU140165K 同等品		カバー：プラスチック（乳白）	
A	NNN54520W LE9 同等品	B	LGB85032 LE1 同等品
	LED 13.8W 1450lm		LED 12W 1100lm
	昼白色		昼白色
C	NNFS21812C LE9 同等品	D	LED 14.9W 1470lm
	LED 14.9W 1470lm		昼白色
	昼白色		昼白色



工事名	上道公園トイレ改築工事				N. E-03	株式会社総合設計	
図面名	電気設備図				縮尺 A1:1/50 A3:1/100	一級建築士事務所 県知事登録No.1910 一級建築士 第92328号 井上 元	
岡山市 都市整備局 住宅・建築部 公共建築課	令和7年5月	担当者	承認	検図	製図		
課長	課長補佐	係長	課員	担当者	承認	検図	製図



撤去リスト

配線用遮断器	CB 2P20A	2個
照明器具	FL20W x 1 ブラケット	2台
スイッチ	露出スイッチ 1P15A x 1	1個
	自動点滅器	1個
コンセント	露出コンセント 2P15A x 1	1個
	防水コンセント 2P15A x 2	1個

※ 屋内設備機器について、照明器具は電気設備工事、配線器具・配線・配管等は建築手帳しにて撤去とする。

撤去又は取外した照明器具の安定器等については、PCB使用の有無を調査のうえ、リストおよび型番等の分かる写真を添付した報告書を提出し、監督員の承諾を得て引渡し又は処分すること。なお、電路から取外したPCB使用機器は特別管理産業廃棄物にあたるので、法律に従いPCB廃棄物の飛散・流出・地下浸透・悪臭発生防止措置を講じ「PCB汚染物」の標示をすること。保管場所については、監督員の指示に従うこと。

工事名	上道公園トイレ改築工事				N o.	株式会社総合設計		
図面名	電気設備撤去図			縮尺	A1:1/30, 1/50 A3:1/60, 1/100	E-04 E-04	一級建築士事務所 県知事登録No.1910	
岡山市	都市整備局	住宅・建築部	公共建築課	令和7年5月	担当者		一級建築士 第92328号 井上 元	
課長	課長補佐	係長	課員		承認	検図	製図	